

令和8年度
(2026年)

山元町 教育要覧

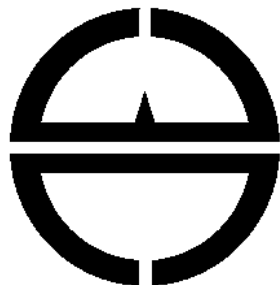


山元町教育委員会



町章

(昭和39年11月3日制定)



山元の二字を図案化し、全体の円は町民の団結、融和、協力を表わし、仙台湾にあって将来大仙台圏の衛星都市として限りなく発展する山元町の力強く回転する歯車を象徴した。

中心より上の部分は躍進する若々しい芽生えを意味したものである。

明るく住みよい、和のある町をめざして

- 一 郷土を愛し、きれいな町をつくります
- 一 生きがいのある、あたたかい町をつくります
- 一 教養を深め、文化のかおり高い町をつくります
- 一 健康で楽しく働ける町をつくります
- 一 みんなの力でゆたかな町をつくります



町木（黒松）昭和50年11月制定

町制施行20周年の記念事業として、町木を制定するため広く町民から募集したところ、総数215点の応募がありました。

そのうち、最も多かった114点の「黒松」が町木に制定されました。

山元町町民歌

作詞 赤沼喜八
作曲 福井文彦

一、太平洋の朝明けに

いま湧き挙る希望あり

愛と誠の願いをこめて

われらは開く ひらく

しあわせの町を

二、阿武隈山の夕映えに

いま野にえがく未来あり

汗と力の実りを求め

われらはひらく 拓く

しあわせの町を

おゝ山元 やまもと

幸せの町よ

やまもと音頭

作詞 渡辺 清
作曲 海鉾義美

一、ハァー風はさやさや緑にとけて ソレ

花も咲きます木檜に桜 サテ

ほんに山元ほんに山元よいところ

サノヨイトコロ

たがやし開いて精出してエ精出して

明るい明るい町づくり

ソレサッサ サラリコ サラリトセ

二、ハァー海はほのぼの朝霧晴れて

舟も出てゆく磯浜みなど

ほんに山元ほんに山元よいところ

心とからだで働いて 働いて

きれいなきれいな町づくり

三、ハァーむかし四千石お城の跡に

いまじゃ色よい苺が香る

ほんに山元ほんに山元よいところ

仲よくはげんで家建てて 家建てて

楽しい楽しい町づくり

四、ハァー夢もひろがる夕焼映えて

招く四方山紅葉を染める

ほんに山元ほんに山元よいところ

平和に暮して手を組んで 手を組んで

豊かな豊かな町づくり

目 次

1	町のあらまし	4
2	山元町役場庁舎配置図	5
3	教育のあゆみ	6
4	山元町教育基本方針	10
5	一般会計歳入歳出予算	13
6	教育委員	14
7	教育関係各種委員	14
8	教育委員会事務局関係職員	17
9	学校教職員数	18
10	学級・児童生徒の推移	18
11	学校別校地・校舎及び運動場の実態	19
12	中学校卒業者の就職進学状況	19
13	小・中学校学区図	20
14	小・中学校、ケアハウス概要	21
15	社会教育の方針	35
16	山元町の文化財	38
17	体育施設の運営方針	41
18	公民館・勤労青少年ホーム運営方針	45
19	歴史民俗資料館運営方針	50
20	ふるさと伝承館運営方針	51
21	深山山麓少年の森運営方針	52
22	震災遺構中浜小学校運営方針	55
23	社会教育関係団体	57

町の花「ツツジ」



町の花

町の野草会など各団体に諮問し、答申に基づいて選定委員会が決定しました。

町の鳥

町内在住の「日本野鳥の会」会員に諮問し、その意見を参考に選定委員会が決定しました。

町の鳥「ツバメ」



(昭和60年11月制定)

1 町 の あ ら ま し

本町は、昭和３０年２月１日町村合併促進法に基づき、旧山下村と旧坂元村の２か村合併によって生まれた町であり、宮城県の最東南端に位置します。

南は福島県新地町と、北は亘理町と接しており、東は太平洋に面し、西は阿武隈高地をもって角田市、丸森町と接しています。気候温暖にして風光明媚な町です。

町の面積は 64.58k m²、東西最大延長 6.5km、南北最大延長 11.9km のほぼ長方形をしています。

町の中央には国道 6 号が縦貫しています。また、平成 28 年 12 月より J R 常磐線が以前の路線より内陸側で運行を再開し、丘陵地には常磐自動車道が縦貫しています。町の中心から県都である仙台市までは約 35 km の位置にあります。

主な産業は農業、とりわけ水稲が中心ですが、野菜、果樹（いちご、りんご、シャインマスカット、いちじく）、畜産、漁業（ホッキ貝、鮭）、復興芝生と多彩です。

教育施設として1つの中学校（令和3年3月に2つの中学校が閉校し4月から山元中学校が開校）、4つの小学校があり、社会教育施設としては中央公民館と坂元公民館があります。

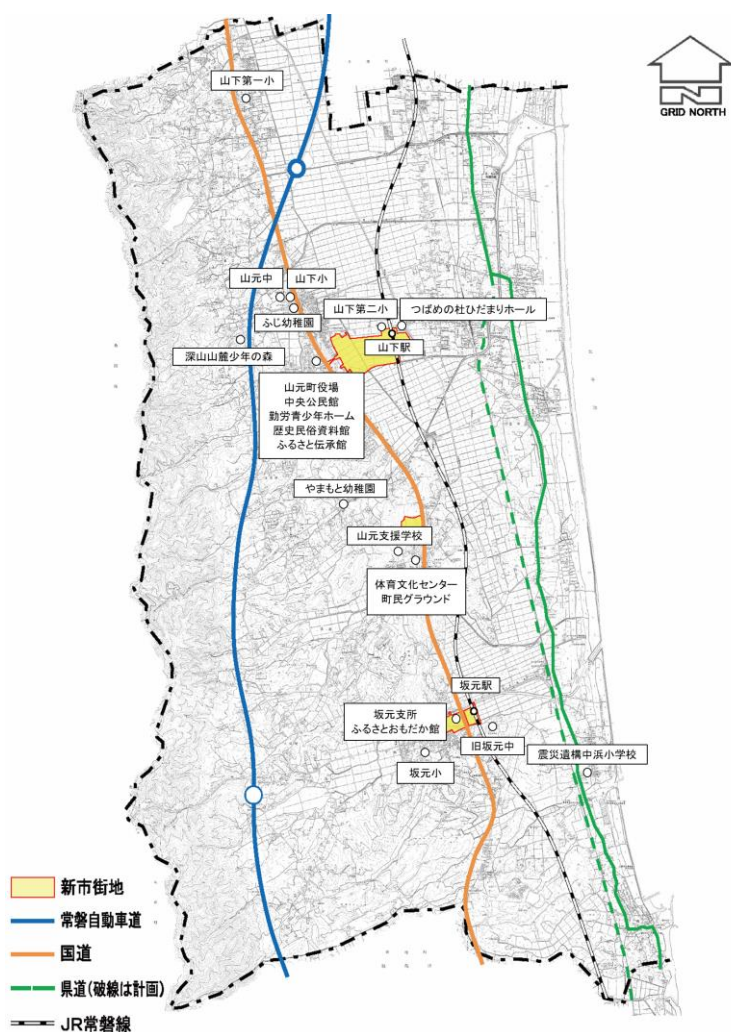
平成23年3月11日、マグニチュード9.0という未曾有の地震が本町を襲いました。特にその後に発生した大津波は、町の約40%の地域をのみこみ、600名以上の尊い命が失われるとともに、約2,500世帯の家屋が被災、流出しました。さらに、鉄道・道路をはじめとする公共交通機関や電気、上下水道など生活に不可欠なライフラインは、現況での復旧が困難なほど破壊・寸断され、水田、いちご畑、漁港などの産業基盤も壊滅的な被害を受けました。

海岸部に位置していた山下第二小学校、中浜小学校、笠野海浜グラウンド等教育施設、社会体育施設についても大津波により壊滅的な被害を受けました。被災した山下第二小学校は平成28年8月より、つばめの杜新市街地に新校舎を建設し運営しています。中浜小学校は平成25年3月31日で閉校し、坂

元小学校へ統合されました。中浜小学校の校舎は、震災伝承を目的とした震災遺構として改修し令和2年9月から一般公開しております。

また、平成29年には防災機能と交流機能を兼ね備えた施設として、山元町防災拠点・坂元地域交流センター「ふるさとおもだか館（8月から供用開始）」及び山元町防災拠点・山下地域交流センター「つばめの杜ひだまりホール（10月から供用開始）」が建設されました。

震災で被災した役場庁舎の建て替えが完了し、令和元年5月7日から新庁舎での業務が開始されました。



面 積		64.58k m ²
位 置	東經	140° 52'
	北緯	37° 57'
世帯数		4,923 世帯
人 口	男	5,538 人
	女	5,681 人
合 計		11,219 人

令和8年5月1日現在

2 山元町役場庁舎配置図



3 教 育 の あ ゆ み

(1)歴代教育委員、教育長及び委員長

(昭和31年10月1日以降)

◎ 教 育 委 員

氏 名	在 任 期 間
橋 谷 田 嘉 蔵	昭和31. 10. 1～昭和42. 6. 30
佐 藤 経 雄	昭和31. 10. 1～昭和33. 9. 30
小 林 善 之 助	昭和31. 10. 1～昭和38. 9. 30
青 田 久 夫	昭和31. 10. 1～昭和39. 9. 30
大 槻 勇 夫	昭和31. 10. 1～昭和39. 9. 30
阿 部 健 男	昭和33. 10. 1～昭和37. 9. 30
千 葉 勉	昭和37. 10. 1～昭和45. 9. 30
菊 地 林	昭和38. 10. 1～昭和46. 9. 30
千 石 鏡 子	昭和39. 10. 1～昭和47. 9. 30
清 野 駒 巳	昭和39. 10. 1～昭和47. 9. 30
富 田 佐 吉	昭和42. 7. 1～昭和49. 4. 30
柳 津 壽 栄	昭和45. 10. 1～昭和52. 9. 30
笠 松 利 次	昭和46. 10. 1～昭和54. 9. 30
森 公 子	昭和47. 10. 1～昭和55. 9. 30
星 八 郎	昭和47. 10. 1～昭和55. 9. 30
伊 達 道 雄	昭和49. 5. 1～昭和54. 6. 28
清 野 義 邦	昭和52. 10. 1～昭和57. 9. 30
大 坪 丈 三 郎	昭和54. 10. 1～昭和58. 10. 1
阿 部 俊 昭	昭和54. 10. 1～昭和60. 9. 30
嶋 田 市 三 郎	昭和59. 4. 1～昭和60. 8. 31
早 坂 文 英	昭和60. 10. 1～昭和62. 6. 30
岩 佐 市 太 郎	昭和60. 10. 1～昭和63. 3. 31
森 恒 雄	昭和55. 10. 1～昭和63. 9. 30
横 山 志 直	昭和55. 10. 1～昭和63. 9. 30
星 美 和 子	昭和57. 10. 1～平成 2. 9. 30
大 和 田 孝 三	昭和62. 10. 1～平成 5. 9. 30
渡 邊 仲	昭和63. 4. 1～平成 8. 3. 31
佐 藤 長 一	昭和63. 10. 1～平成 8. 9. 30
菅 野 丈 治	昭和63. 10. 1～平成 8. 9. 30

岩 佐 清 一	平成 2. 1 0. 1～平成 6. 1 2. 1 9
橋 元 義 次	平成 8. 4. 1～平成 1 6. 3. 3 1
阿 部 均	平成 5. 1 0. 1～平成 1 7. 9. 3 0
熊 谷 ク メ 子	平成 7. 2. 1～平成 1 8. 9. 3 0
佐 々 木 陽 一 郎	平成 8. 1 0. 1～平成 1 9. 3. 3 1
星 新 一	平成 9. 7. 1～平成 2 1. 6. 3 0
田 所 清 三	平成 1 6. 4. 1～平成 2 4. 3. 3 1
吉 田 智 恵 子	平成 1 7. 1 0. 1～平成 2 5. 9. 3 0
高 橋 良 一	平成 1 8. 1 0. 1～平成 2 2. 9. 3 0
横 山 俊 二	平成 1 9. 5. 1 0～平成 2 2. 4. 3 0
高 橋 建 夫	平成 2 2. 1 0. 1～平成 2 6. 9. 3 0
島 田 さ ゆ り	平成 2 1. 7. 1～平成 2 9. 6. 3 0
森 憲 一	平成 2 2. 5. 1 7～平成 2 8. 9. 3 0
荻 原 美 智 絵	平成 2 5. 1 0. 1～平成 3 1. 3. 3 1
齋 藤 房 江	平成 2 6. 1 0. 1～令和 4. 3. 3 1
古 泉 可 奈	平成 3 1. 4. 1～令和 5. 3. 3 1
大 内 悦 夫	平成 2 4. 4. 1～現 在
菅 野 正 彦	平成 2 9. 7. 1～現 在
横 山 真 理 子	令和 4. 4. 1～現 在
門 間 浩 泰	令和 5. 4. 1～現 在

◎ 教 育 長

氏 名	在 任 期 間
橋 谷 田 嘉 蔵	昭和 3 1. 1 0. 1～昭和 4 2. 6. 3 0
富 田 佐 吉	昭和 4 2. 7. 1～昭和 4 9. 4. 3 0
伊 達 道 雄	昭和 4 9. 5. 1～昭和 5 4. 6. 2 8
大 坪 丈 三 郎	昭和 5 4. 1 0. 2～昭和 5 8. 1 0. 1
横 山 志 直	昭和 5 8. 1 0. 2～昭和 6 3. 9. 3 0
菅 野 丈 治	昭和 6 3. 1 0. 1～平成 8. 9. 3 0
佐 々 木 陽 一 郎	平成 8. 1 0. 1～平成 1 9. 3. 3 1
横 山 俊 二	平成 1 9. 5. 1 0～平成 2 2. 4. 3 0
森 憲 一	平成 2 2. 5. 1 7～平成 2 8. 9. 3 0
菊 池 卓 郎	平成 2 8. 1 0. 1～現在（新制度切替）

◎ 委 員 長

氏 名	在 任 期 間
佐 藤 経 雄	昭和 3 1 . 1 0 . 1 ～昭和 3 3 . 9 . 3 0
青 田 久 夫	昭和 3 3 . 1 0 . 1 ～昭和 3 4 . 9 . 3 0
大 槻 勇 夫	昭和 3 4 . 1 0 . 1 ～昭和 3 5 . 9 . 3 0
小 林 善 之 助	昭和 3 5 . 1 0 . 1 ～昭和 3 6 . 9 . 3 0
阿 部 健 男	昭和 3 6 . 1 0 . 1 ～昭和 3 7 . 9 . 3 0
青 田 久 夫	昭和 3 7 . 1 0 . 1 ～昭和 3 8 . 9 . 3 0
大 槻 勇 夫	昭和 3 8 . 1 0 . 1 ～昭和 3 9 . 9 . 3 0
菊 地 林	昭和 3 9 . 1 0 . 1 ～昭和 4 0 . 9 . 3 0
千 葉 勉	昭和 4 0 . 1 0 . 1 ～昭和 4 1 . 9 . 3 0
菊 地 林	昭和 4 1 . 1 0 . 1 ～昭和 4 2 . 9 . 3 0
千 葉 勉	昭和 4 2 . 1 0 . 1 ～昭和 4 4 . 9 . 3 0
菊 地 林	昭和 4 4 . 1 0 . 1 ～昭和 4 6 . 9 . 3 0
清 野 駒 巳	昭和 4 6 . 1 0 . 1 ～昭和 4 7 . 9 . 3 0
柳 津 壽 栄	昭和 4 7 . 1 0 . 1 ～昭和 5 2 . 9 . 3 0
笠 松 利 次	昭和 5 2 . 1 0 . 1 ～昭和 5 4 . 9 . 3 0
星 八 郎	昭和 5 4 . 1 0 . 1 ～昭和 5 5 . 9 . 3 0
清 野 義 邦	昭和 5 5 . 1 0 . 1 ～昭和 5 7 . 9 . 3 0
阿 部 俊 昭	昭和 5 7 . 1 0 . 1 ～昭和 6 0 . 9 . 3 0
森 恒 雄	昭和 6 0 . 1 0 . 1 ～昭和 6 3 . 9 . 3 0
星 美 和 子	昭和 6 3 . 1 0 . 1 ～平成 2 . 9 . 3 0
大 和 田 孝 三	平成 2 . 1 0 . 1 ～平成 5 . 9 . 3 0
渡 邊 仲	平成 5 . 1 0 . 1 ～平成 8 . 3 . 3 1
佐 藤 長 一	平成 8 . 4 . 1 ～平成 8 . 9 . 3 0
阿 部 均	平成 8 . 1 0 . 1 ～平成 1 7 . 9 . 3 0
熊 谷 ク メ 子	平成 1 7 . 1 0 . 1 ～平成 1 8 . 9 . 3 0
田 所 清 三	平成 1 8 . 1 0 . 1 ～平成 2 4 . 3 . 3 1
高 橋 建 夫	平成 2 4 . 4 . 1 ～平成 2 6 . 9 . 3 0
大 内 悦 夫	平成 2 6 . 1 0 . 1 ～平成 2 8 . 9 . 3 0 (平成 2 8 年 1 0 月 1 日～教育長職務代理者)

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員長と教育長を一本化した新制度へ移行。

◎ 教育長職務代理者

氏 名	在 任 期 間
大 内 悦 夫	平成 2 8 . 1 0 . 1 ~ 現 在

4 令和8年度山元町教育基本方針

山元町の学校教育・社会教育は、社会の変化に適切に対応するとともに、令和元年度を初年度とする「第6次山元町総合計画」に基づき、学校、家庭、地域、そして教育委員会の総力を挙げて取り組むこととし、令和4年3月に策定した第2期山元町教育振興基本計画を具体的に推進する。

復興から新しいまちづくりをめざす山元町の豊かな自然と風土の中で、家庭及び地域の教育力を生かし、心豊かでたくましい人間形成を図ることを目指して

英 知
共 生
健 康



- 未来を生き抜く力の育成をめざす学校教育
- 生きがいをもち、支え合う地域社会をめざす社会教育
- 健康・体力の向上をめざす生涯スポーツの振興

を重点に町民の生涯にわたる学習の充実に努める。

教育振興基本計画の目標

- 目標1 夢と志を持ち、その実現に向けて自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。
- 目標2 家庭・地域・学校の教育力の充実と連携の強化を図り、山元の豊かな教育資源を生かしながら、社会全体で子どもを守り育てる環境をつくる。
- 目標3 次代を支える社会の一員として、歴史が培ってきた文化や規範を尊重し、思いやりの心に富んだ人間を育むとともに他国の文化の理解を深める。
- 目標4 生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

【令和8年度教育重点施策】

○学校教育・社会教育の推進

～家庭・地域・学校の協働のもとで夢と志を育む～

学校教育と社会教育が連携・協働し、町民一人一人の自己実現と健康で生きがいに満ちた生涯学習社会を実現するために、次の施策を重点として推進する。

また、「みのりプロジェクト」による「学校教育の充実」に向けた各種取組を推進する。

1 豊かな人間性や社会性の育成

①生きる力を育む志教育の推進

②道徳教育の推進

重点的事項①

(特別の教科道徳の充実(小・中)、小学校社会科副読本の活用、p4cの実践など)

③いじめ・不登校への対応

重点的事項②

(子どもの心のケアハウス運営事業、SSW派遣事業、学び支援教室充実事業など)

2 確かな学力の育成

①基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の伸長

重点的事項③

(町内標準学力調査の実施(年2回)及び結果の分析・共有と活用、「3つの約束」の指導・啓発、放課後・長期休業中の学習支援、山元町授業研究会の活用、非認知能力の育成など)

②「分かる授業」への授業改善

③ICT教育の推進

重点的事項④

(ICT支援員の配置、ICTを活用した授業実践の推進、ICT機器更新事業など)

④国際理解を育む教育の推進

(ALTの配置、英語学習意欲アンケート・学習状況調査など)

⑤特別支援教育の充実

(個別の教育支援計画の活用、医療的ケアのガイドラインの活用など)

3 健やかな身体育成

①知育・徳育にもつながる基本的生活習慣の定着

重点的事項⑤

(「3つの約束」の指導・啓発、全国学力・学習状況調査の質問紙や町養護教諭部会の生活アンケート結果の分析・指導、1人1台端末等を活用した「心の健康観察」(厚労省)の実施など)

②体力・運動能力の向上

(仙台大学との連携による小学校を会場とした研修の開催、大学生による中学校部活動支援など)

③食育の推進

(給食への地場産品活用維持や郷土料理体験など)

4 教育環境・教育活動の充実

①小学校再編の計画的推進

②「みのりプロジェクト推進事業」(学校教育充実事業)の推進

重点的事項⑥

(推進会議・検討部会(徳・知・体)の充実、外部機関等との連携など)

③教職員の働き方改革の推進

(統合型校務支援システムの活用、段階的な部活動の地域展開・外部指導者導入など)

5 家庭・地域・学校の連携・協働の推進

- ①コミュニティ・スクールの充実と地域学校協働本部の連携 重点的事項⑦
(コミュニティ・スクールの充実、放課後子ども教室の実施、地域学校協働本部運営など)
- ②小小連携、幼保小連携、小中連携の強化
- ③子どもたちの体験活動の推進
- ④家庭教育支援の充実

6 伝統・文化の尊重と文化財の保護と活用

- ①伝統・文化の尊重と理解 重点的事項⑧
(小学校社会科副読本の活用、歴史民俗資料館等を活用した歴史・文化の学習機会の提供、
伝統芸能保存団体の支援など)
- ②文化財の保護と活用
(町指定文化財「茶室」活用事業など)

7 生涯にわたる学習・芸術文化・スポーツ活動の推進

- ①地域をつくる生涯学習・芸術文化活動の推進
- ②生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実 重点的事項⑨
(社会教育・スポーツ団体に対する活動支援、段階的な部活動の地域展開など)

8 防災教育をととした命を守る意識の高揚

- ①防災教育の推進・充実 重点的事項⑩
(防災キャンプの実施、学校防災計画の不断の見直しなど)
- ②地域の自主防災訓練や町総合防災訓練への参加
- ③震災遺構・防災拠点の利活用
(年齢段階に応じた防災教育の充実など)

5 令和8年度一般会計歳入歳出予算

7,893,340 千円

(前年比

△ 499,237

千円)

歳入

町税	1,343,473 千円
地方消費税交付金	349,276 "
地方交付税	2,917,513 "
国庫支出金	1,014,080 "
県支出金	433,740 "
繰入金	798,144 "
町債	75,600 "
その他	961,514 "

歳出

議会費	104,240 千円
総務費	1,633,035 "
民生費	2,380,003 "
衛生費	468,888 "
労働費	16,443 "
農林水産業費	284,410 "
商工費	136,904 "
土木費	770,889 "
消防費	354,192 "
教育費	901,733 "
災害復旧費	16,196 "
公債費	761,861 "
その他	64,546 "

歳入計 7,893,340 千円

歳出計 7,893,340 千円

教育費予算額内訳（当初）

(単位：千円)

目		本年度	前年度	比較
教育委員会費		1,503	1,270	233
事務局費		198,920	169,873	29,047
教育指導費		10,048	10,410	△ 362
小学校	学校管理費	83,362	72,788	10,574
	教育振興費	45,141	108,137	△ 62,996
中学校	学校管理費	108,662	94,662	14,000
	教育振興費	37,550	60,470	△ 22,920
幼稚園費		1,083	1,183	△ 100
社会教育総務費		76,906	70,033	6,873
中央公民館費		49,166	43,370	5,796
坂元公民館費		478	466	12
文化財保護費		59,382	10,456	48,926
地域学校協働活動事業費		2,046	2,158	△ 112
歴史民俗資料館施設費		11,052	12,192	△ 1,140
深山山麓少年の森管理費		14,067	15,354	△ 1,287
社会教育施設計画費		0	129,712	△ 129,712
震災遺構中浜小学校管理費		29,805	29,366	439
保健体育総務費		4,265	4,425	△ 160
体育振興費		12	158	△ 146
体育施設費		18,838	23,598	△ 4,760
学校給食費		149,447	125,424	24,023
合 計		901,733	985,505	△ 83,772

6 教育委員

令和8.4時点

職 名	氏 名	備 考	職 名	氏 名	備 考
教育長	菊 池 卓 郎		委 員	横 山 真理子	
教育長 職務代理者	大 内 悦 夫		〃	門 間 浩 泰	
委 員	菅 野 正 彦				

7 教育関係各種委員

教育支援委員会委員（前：就学指導審議会）※平成31年4月1日名称変更）

任期（令和8.4～令和10.3）

職 名	氏 名	備 考	職 名	氏 名	備 考
委 員	松 村 吉 史	校 医	委 員	矢 口 か を る	小学校特別支援コーディネーター代表
〃	齋 藤 賢 一	坂元小学校長	〃	木 村 真 由 美	中学校特別支援コーディネーター代表
〃	加 藤 修 子	山下小学校長	〃	竹 内 透 史	県立山元支援学校長
〃	平 栗 秀 勝	山下第一小学校長	〃	日 下 美 香	山元支援学校地域支援コーディネーター
〃	吉 田 伸 一	山下第二小学校長	〃	澤 西 祥 子	山元町健康推進課健康推進班 班長
〃	一 丸 孝 博	山元中学校長	〃	清 田 史	山元町地域福祉課福祉班 技術主査
〃	鈴 木 研 一	山下小学校教頭 教頭会長			

学校給食運営審議会委員

任期（令和8.4～令和10.3）

職 名	氏 名	備 考	職 名	氏 名	備 考
委 員	萱 場 一 則	校 医	委 員	横 山 育 生	坂元小学校 父母教師会会長
〃	岩 見 圭 記	亘理山元商工会 副会長	〃	大 浪 美 香	山下小学校 父母教師会会長
〃	吉 田 伸 一	山下第二小学校長	〃	小 泉 大 輔	山下第一小学校 父母教師会会長
〃	一 丸 孝 博	山元中学校長	〃	秋 葉 範 博	山下第二小学校 父母教師会副会長
〃	佐 藤 奈 々	坂元小学校 小学校給食主任	〃	高 橋 浩 二	山元中学校 父母教師会会長
〃	大 石 利 枝	山元中学校 中学校給食主任	〃	阿 部 淳 也	山元町産業観光課 商工観光交流班 班長
〃	野 村 香	山元中学校栄養教諭	〃	武 田 美 代 子	山元町健康推進課 健康推進班 技術主査
〃	嶋 田 由 美 子	山元町食生活改善推進 員連絡協議会			

いじめ問題対策連絡協議会委員

任期（令和7.4～令和9.3）

職 名	氏 名	備 考	職 名	氏 名	備 考
委 員	鈴 木 佑 治	宮城県中央児童相談所技術主査	委 員	平 栗 秀 勝	山下第一小学校長
〃	佐 藤 朋 博	仙台法務局人権擁護部第二課長	〃	佐 竹 寿	坂元小学校 主幹教諭（安全）
〃	大 槻 光	亘理警察署地域課兼生活安全課長	〃	松 崎 雄 哉	山元中学校 教諭 いじめ対策担当
〃	佐 藤 睦 美	山元町子育て定住推進課長	〃	横 山 真 理 子	山元町民生委員児童委員協議会 主任児童委員
〃	高 橋 浩 二	山元町連合父母教師会会長	〃	齋 藤 由 紀	山元町民生委員児童委員協議会 主任児童委員
〃	小 泉 大 輔	山元町連合父母教師会副会長	〃	篠 原 千 佳	山元町教育委員会 スクールソーシャルワーカー
〃	大 浪 美 香	山元町連合父母教師会監事	〃	伊 藤 和 重	山元町教育委員会 教育総務課長

特別支援連携協議会委員

任期（令和7.4～令和9.3）

職 名	氏 名	備 考	職 名	氏 名	備 考
委 員	松 村 吉 史	校医	委 員	佐 藤 奈 々	坂元小学校教諭 特別支援コーディネーター代表
〃	一 丸 孝 博	山元中学校長 校長会担当	〃	武 田 清 美	山下小学校教諭 特別支援コーディネーター代表
〃	鈴 木 研 一	山下第一小学校教頭 教頭会長	〃	矢 口 か を る	山下第一小学校教諭 特別支援コーディネーター代表
〃	日 下 美 香	県立山元支援学校教諭 地域支援コーディネーター	〃	渡 部 史 郎	山下第二小学校教諭 特別支援コーディネーター代表
〃	遠 藤 ひ と み	山元町基幹相談支援センターやすらぎ	〃	木 村 真 由 美	山元中学校教諭 特別支援コーディネーター代表
〃	小 林 舞 子	ふじ幼稚園主幹教諭	〃	澤 西 祥 子	山元町健康推進課 健康推進班 班長
〃	田 所 日 向	やまもと幼稚園教諭	〃	清 田 史	山元町地域福祉課 福祉班 技術主査
〃	齋 藤 美 幸	つばめの杜保育所 技術主査			

社会教育委員

任期（令和7.4～令和9.3）

職 名	氏 名	備 考	職 名	氏 名	備 考
議 長	北 島 一 浩	学識経験者	委 員	高 橋 健 一	学識経験者
職務代理	佐 藤 作智栄	家庭教育支援団体	〃	岩 佐 一 行	商工会青年部
委 員	内 山 太 史	青年倶楽部” 翔”	〃	平 栗 秀 勝	校長会
〃	齋 藤 由 紀	民生児童委員	〃	横 山 なおみ	社会教育施設利用者
〃	阿 部 眞	区長会	〃	寺 嶋 琢 也	社会体育施設利用者

スポーツ推進委員

任期（令和7.4～令和9.3）

職 名	氏 名	備 考	職 名	氏 名	備 考
委員長	齋 藤 順 子		委 員	武 田 由美子	
副委員長	齋 藤 哲 夫		〃	丹 野 俊 哉	
委 員	足 立 めぐみ		〃	平 山 ゆかり	
〃	菊 地 則 子		〃	藤 川 香奈江	
〃	清 橋 富 夫		〃	谷 津 千 枝	
〃	佐 藤 仙 男		〃	横 山 隆 一	
〃	庄 司 智 憲				

文化財保護委員会委員

任期（令和8.4～令和10.3）

職 名	氏 名	備 考	職 名	氏 名	備 考
委員長	宮 地 ふみ子	郷土史家	委 員	田 所 大 樹	町指定文化財所有者
副委員長	伊 藤 由 信	無形文化財伝承者	〃	島 田 さゆり	郷土史家
委 員	藤 波 祥 子	無形文化財伝承者			

8 教育委員会事務局関係職員

【令和8年4月1日現在】

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	菊 池 卓 郎	
教育長室 直通電話 (0223) 37-0498 代表電話 (0223) 37-5115 (内線300)		

〔教育委員会事務局〕

教育総務課				生涯学習課 歴史民俗資料館・ふるさと伝承館・震災遺構中浜小学校 町民体育館・町民ｸﾞﾗﾌﾞ・深山山麓少年の森			
班 名	職 名	氏 名	備 考	班 名	職 名	氏 名	備 考
課 長		伊 藤 和 重		課 長		鈴 木 宏 幸	
総 務 班	班 長	泉 田 智 久		生涯学習班	班 長	加 藤 拓 己	
	副 参 事	安 藤 雄 一	町任期付職員		副 参 事	松 本 圭 輔	県教育委員会派遣
	副 参 事	矢 口 晃	町任期付職員		主 査	山 田 隆 博	
	副 参 事	武 田 義 弘	町任期付職員		主 査	佐 伯 奈 弓	
	主 事	畠 山 瑛 之			主 事	若 生 聖	
	技 術 主 査	浦 山 佳 代 子	山元中学校勤務		主 事	村 松 里 世 菜	
	技 師	佐 々 木 千 陽	山元中学校勤務		社会教育指導員	高 橋 千 春	
	外 国 語 指 導 助 手	ｼﾞｬｲﾑｽﾞ・ﾁｬｯﾌﾟﾘﾝ			部活動地域移行 コーディネーター	浅 川 光 喜	
施設整備班	主 事	篠 原 千 佳					
	班 長	佐 藤 修		中央公民館・勤労青少年ホーム			
	技 術 副 参 事	佐 藤 文 美	町任期付職員	班 名	職 名	氏 名	備 考
教育総務課 〒989-2292 山元町浅生原字作田山32番地 電話 (0223) 37-5115 FAX (0223) 37-5119 (総務班) Eメール kyouiku.s@town.miyagi-yamamoto.lg.jp (施設整備班) Eメール kyouiku.sh@town.miyagi-yamamoto.lg.jp 生涯学習課 〒989-2292 山元町浅生原字作田山32番地 電話 (0223) 36-8948 FAX (0223) 37-5119 (生涯学習班) Eメール shougaku.s@town.miyagi-yamamoto.lg.jp 中央公民館 〒989-2203 山元町浅生原字日12番地1 電話 (0223) 37-5116 FAX (0223) 37-0119 (総括班) Eメール kouminkan.s@town.miyagi-yamamoto.lg.jp 防災拠点・山下地域交流センター(つばめの杜ひだまりホール) 〒989-2208 山元町つばめの杜一丁目8番地 電話 (0223) 37-5592 FAX (0223) 37-5593 Eメール yamashita.c@town.miyagi-yamamoto.lg.jp 坂元公民館・防災拠点・坂元地域交流センター(ふるさとおもだか館) 〒989-2111 山元町坂元字町東1番地60 電話 (0223) 38-0301 FAX (0223) 38-0302 Eメール sakamoto.s@town.miyagi-yamamoto.lg.jp				館 長			
				総括班	班 長	森 慎 一 郎	
					副 参 事	伊 藤 常 則	
				防災拠点・山下地域交流センター 「つばめの杜ひだまりホール」			
				班 名	職 名	氏 名	備 考
				所 長		渡 邊 裕 之	町任期付職員
					主 事	清 野 貴 紀	
					主 事	引 地 さ と み	
				坂元公民館・防災拠点・坂元地域交流センター 「ふるさとおもだか館」			
				班 名	職 名	氏 名	備 考
				館 長(所 長)		嶋 田 洋 子	
					副 参 事	星 智 美	
					主 事	鈴 木 聡	

9 学校教職員数

(R8.5.1現在)

区分		県費職員								町職員					総計 (①+②)
		教員			養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	栄養 職員	計①	栄養 職員	事務 職員	用務 職員	給食 従事員	計②	
		男	女	計											
小 学 校	令和2	26	21	47	4	0	4	0	55	0	0	4	0	4	59
	令和3	30	21	51	4	0	4	0	59	0	0	4	0	4	63
	令和4	29	21	50	4	0	4	0	58	0	0	4	0	4	62
	令和5	28	24	52	4	0	4	0	60	0	0	4	0	4	64
	令和6	26	26	52	4	0	4	0	60	0	0	4	0	4	64
	令和7	25	28	53	4	0	4	0	59	0	0	4	0	4	63
	令和8	24	27	51	4	0	4	0	59	0	0	4	0	4	63
	坂元小	7	7	14	1	0	1	0	16	0	0	1	0	1	17
	山下小	7	10	17	1	0	1	0	19	0	0	1	0	1	20
	山一小	4	5	9	1	0	1	0	11	0	0	1	0	1	12
	山二小	6	5	11	1	0	1	0	13	0	0	1	0	1	14
中 学 校	令和2	23	9	32	2	1	2	0	37	2	0	2	8	12	49
	令和3	15	8	23	1	1	1	0	26	1	0	2	0	3	29
	令和4	15	7	22	1	1	1	0	25	1	0	1	0	2	27
	令和5	12	8	20	1	1	1	0	23	1	0	1	0	2	25
	令和6	12	8	20	1	1	1	0	23	1	0	1	0	2	25
	令和7	13	7	20	1	0	1	0	22	2	2	1	0	5	27
	令和8	10	9	19	1	1	1	0	22	2	2	1	0	5	27
	山元中	10	9	19	1	1	1	0	22	2	2	1	0	5	27

学校基本調査より

10 学級・児童生徒の推移

(R8.5.1現在)

区 分		学 級 数								児 童 生 徒 数								1学級 当り児 童生徒 数	教員1 人当た りの児 童生徒 数
		1	2	3	4	5	6	特支	計	1	2	3	4	5	6	特支	計		
小 学 校	令和2	4	4	4	4	4	4	7	31	72	73	69	66	66	70	13	429	14.8	9.2
	令和3	5	4	3	4	4	4	7	31	86	73	71	69	66	66	15	446	13.8	8.3
	令和4	4	5	4	4	3	4	8	32	74	87	74	72	69	68	16	460	13.8	9.1
	令和5	4	4	5	4	4	3	9	33	81	75	88	74	75	69	19	481	13.9	8.7
	令和6	4	4	4	5	4	3	11	35	63	80	75	89	75	75	17	474	13.6	9.2
	令和7	4	4	4	5	5	4	8	34	67	64	82	74	91	76	14	468	13.8	8.8
	令和8	4	4	4	4	5	5	7	33	60	69	65	82	76	90	16	458	13.9	9.0
	坂元小	1	1	1	1	1	1	2	8	7	10	9	7	13	12	3	61	7.6	4.4
	山下小	1	1	1	1	2	2	2	10	29	27	21	34	38	41	7	197	19.7	11.6
	山一小	1	1	1	1	1	1	1	7	6	9	8	18	6	10	1	58	8.3	6.4
	山二小	1	1	1	1	1	1	2	8	18	23	27	23	19	27	5	142	17.8	12.9
中 学 校	令和2	3	3	3				3	12	86	96	68				5	255	20.9	8.5
	令和3	2	3	3				2	10	70	86	97				4	257	19.5	7.9
	令和4	2	2	3				2	9	70	72	88				7	237	23.2	8.0
	令和5	2	2	2				2	8	68	71	73				7	219	25.7	11.2
	令和6	2	2	2				2	8	69	68	73				9	219	27.4	11.0
	令和7	3	2	2				2	9	74	74	74				7	229	25.4	11.5
	令和8	2	2	2				2	8	68	74	70				9	221	27.6	11.6
	山元中	2	2	2				2	8	68	74	70				9	221	27.6	11.6

※特支・・・特別支援学級

学校基本調査より

11 学校別校地・校舎及び運動場の実態

(令和8.5.1現在)

										普通 教室	特別教室												
区 分		校地面積(㎡)				校舎・その他面積(㎡)					屋 内 運動場	理 科	生 活	音 楽	図 工	美 術	技 ・ 家 計	外 国 語	視 聴 覚	P C	図 書	特 活	相 談
		校 舎	運動場	その他	計	R	W	S	計														
小 学 校	坂元小	4,750	7,390	3,881	16,021	3,411	0	0	3,411	1,055	8	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	2	2
	山下小	7,365	4,309	1,326	13,000	3,407	0	29	3,436	681	10	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	4	1
	山一小	4,366	5,726	2,924	13,016	3,453	0	49	3,502	478	8	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	2	0
	山二小	4,699	6,400	5,367	16,466	86	3,752	0	3,838	861	8	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	2
	計	21,180	23,825	13,498	58,503	10,357	3,752	78	14,187	3,075	34	4	1	4	4	0	3	1	2	1	4	9	5
中 学 校	山元中	13,690	21,529	6,989	42,208	6,393	0	0	6,393	2,107	8	2	0	1	0	1	3	0	1	1	1	6	3
	計	13,690	21,529	6,989	42,208	6,393	0	0	6,393	2,107	8	2	0	1	0	1	3	0	1	1	1	6	3

(学校施設台帳より引用)

12 中学校卒業者の就職進学状況

(令和8.5.1現在)

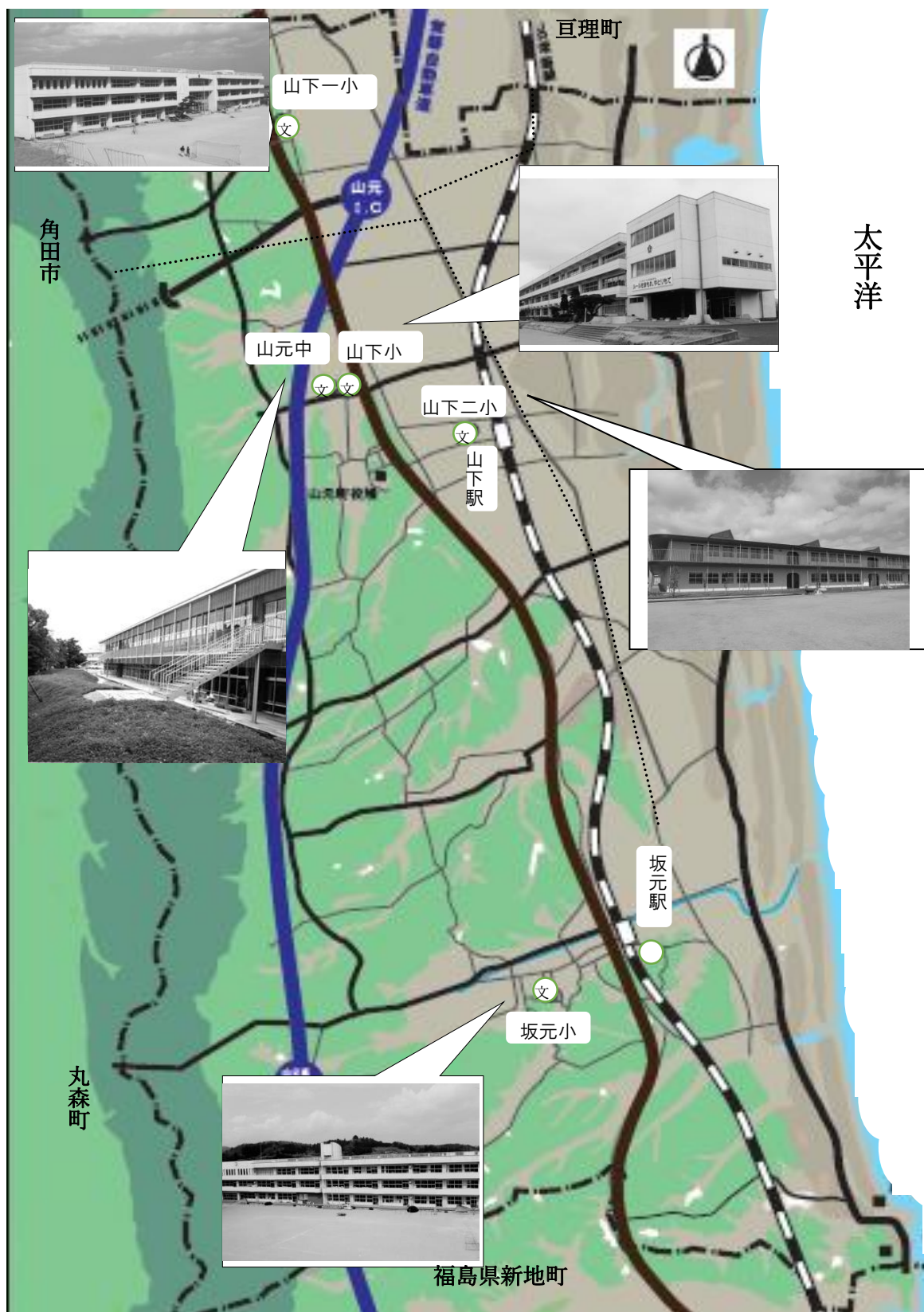
区 分	卒業生数			うち進学者(A)				うち専修学校等 入学者数(B)			うち就職者等			進学率 (A)+(B) ／卒業 者数
	男	女	計	男	女	計	割合 (%)	男	女	計	男	女	計	
R2.3月卒業	40	46	86	39	46	85	98.8	0	0	0	1	0	1	98.8
R3.3月卒業	28	43	71	24	38	62	87.3	1	0	1	3	5	8	88.7
R4.3月卒業	53	45	98	49	43	92	93.9	1	0	1	0	5	5	94.9
R5.3月卒業	49	40	89	47	36	83	93.3	1	1	2	1	3	4	95.5
R6.3月卒業	48	28	76	47	28	75	98.7	0	0	0	1	0	1	98.7
R7.3月卒業	35	42	77	35	37	72	93.5	0	0	0	0	5	5	93.5
R8.3月卒業	40	30	70	35	27	62	88.6	1	0	1	4	3	7	90.0

(卒業者のうち、(A)・(B)欄及び就職者に該当しないものは、就職者等欄にて計上)
令和3年4月1日、坂元中学校と山下中学校が統合し、「山元中学校」となる。

学校基本調査より

13 小・中学校学区図

.....小学校区
中学校区 = 町内全域



14 小・中学校概要

坂元小学校

- 1 所在地 山元町坂元字館下159番地1
電 話：0223-38-0305 FAX：0223-38-4450
- 2 開 校 年 明治6年5月14日
- 3 開校記念日 5月14日
- 4 建 築 年 月 校 舎 昭和55年3月新築 昭和56年3月増築
プー ル 平成25年7月新築
体育館 平成26年3月新築

【教育目標】

主体的に生き、人間性豊かでたくましい子供の育成 ～しなやかに生きる子供～

【学校経営の方針】

- (1) 教職員が協働意識を持って学校経営に参画する体制を作り、カリキュラムマネジメントによる教育活動の実施と改善に努める。
- (2) 宮城県の学校教育の重点及び山元町のエ重点施策に沿った教育活動に努める。
- (3) 保護者、地域、関係機関と連携し、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成を目指し、生活科・総合的な学習の時間を中心にして教科等横断的な教育課程を編成する。
- (4) 教育活動の質的向上に向けた教職員の資質向上と業務改善の推進に努める。
- (5) 学校・保護者・地域が協働しえ学校運営に取り組めるよう、協働型学校評価重点事項を設定し、コミュニティ・スクールの基盤づくりに努める。

【目指す学校像】

子供や保護者、地域にとって、心の居場所と学ぶ場となる学校

【目指す児童像】

- 1 【確かな学力】 進んで学習する子供
- 2 【豊かな心】 明るく思いやりのある子供
- 3 【健やかな体】 進んで運動する子供

面平金校

令和7年度

平面図

階

尺

0

5

1.0

1.5

2.0

2.5

3.0

3.5

4.0

4.5

5.0

5.5

6.0

6.5

7.0

7.5

8.0

8.5

9.0

9.5

10.0

10.5

11.0

11.5

12.0

12.5

13.0

13.5

14.0

14.5

15.0

15.5

16.0

16.5

17.0

17.5

18.0

18.5

19.0

19.5

20.0

20.5

21.0

21.5

22.0

22.5

23.0

23.5

24.0

24.5

25.0

25.5

26.0

26.5

27.0

27.5

28.0

28.5

29.0

29.5

30.0

30.5

31.0

31.5

32.0

32.5

33.0

33.5

34.0

34.5

35.0

35.5

36.0

36.5

37.0

37.5

38.0

38.5

39.0

39.5

40.0

40.5

41.0

41.5

42.0

42.5

43.0

43.5

44.0

44.5

45.0

45.5

46.0

46.5

47.0

47.5

48.0

48.5

49.0

49.5

50.0

50.5

51.0

51.5

52.0

52.5

53.0

53.5

54.0

54.5

55.0

55.5

56.0

56.5

57.0

山下小学校

- 1 所在地 山元町山寺字樋前12番地
電 話 0223-37-0018 FAX 0223-37-5680
- 2 開 校 年 明治6年
- 3 開校記念日 5月27日
- 4 建 築 年 月 校 舎 昭和53年3月新築 昭和53年8月増築
体育館 昭和43年3月新築
プール 平成17年3月新築
図書室 平成24年9月新築（プレハブ）
図工室・準備室 平成24年9月新築（プレハブ）

【教育目標】

自ら考え、心豊かでたくましい児童の育成

【学校経営の方針】

5つの柱

- (1) 安心づくり・・・安心して登校できる環境づくりを進めます。
- (2) 授業づくり・・・「わかる」「できる」授業を目指します。
- (3) 習慣づくり・・・望ましい習慣（学習・生活）の確立を組織的に指導します。
- (4) つながりづくり・・・人とのつながりを深め、「感謝」の気持ちを育てます。
- (5) 余白づくり・・・教育活動の「選択と集中」により、児童に向き合う時間を確保します。

【目指す学校像】

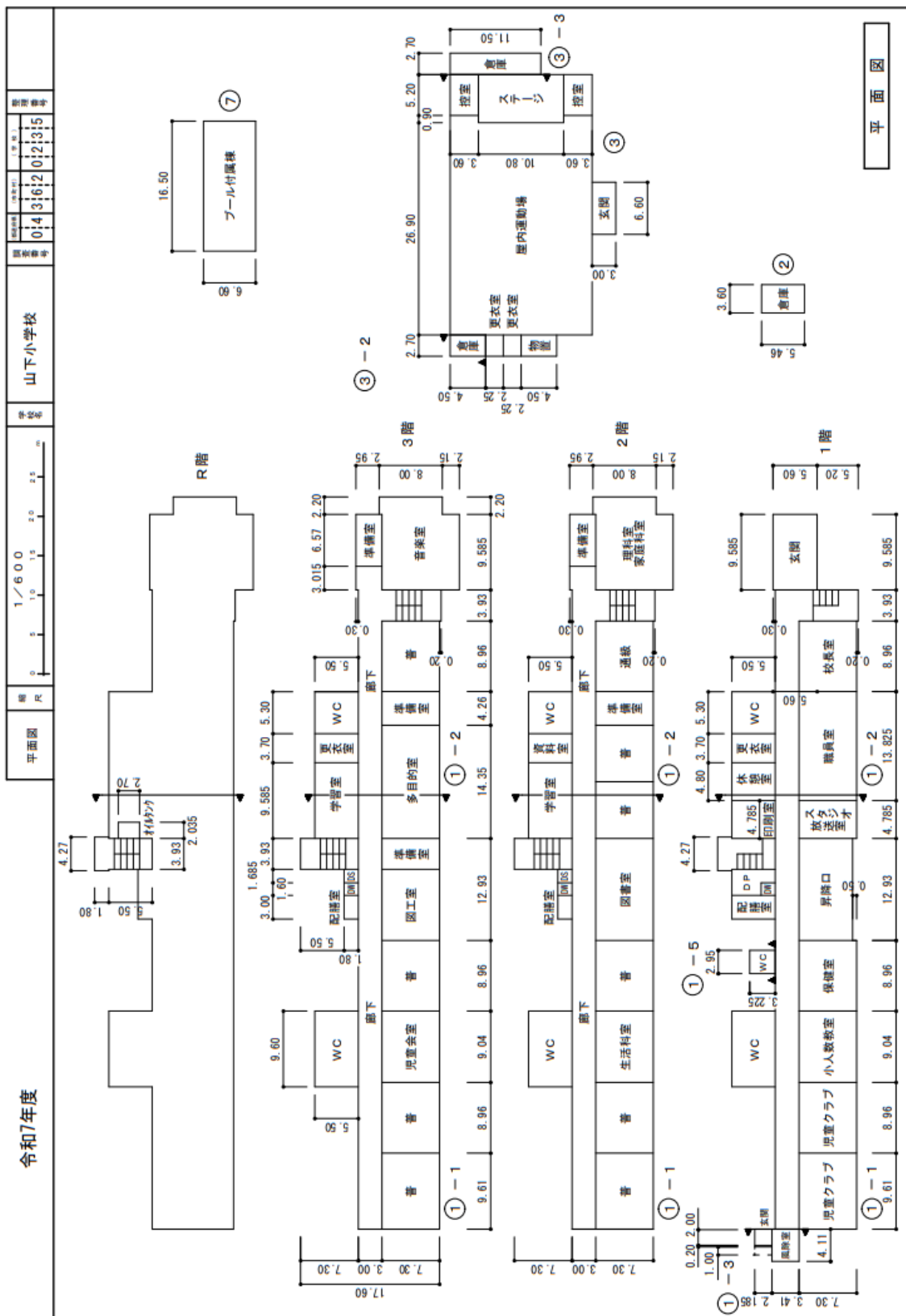
3つの大切

「わかる」「できる」「感謝する」を育む学校

【目指す児童像】

㊦りとおす子ども ㊦ごころのある子ども ㊦っかり勉強する子ども ㊦くましい子ども

圖面平衡



山下第一小学校

- 1 所在地 山元町大平字握6番地
電話 0223-37-0044 FAX 0223-37-3532
- 2 開校年 明治6年7月10日
- 3 開校記念日 7月10日
- 4 建築年月 校舎 昭和58年3月新築 昭和59年2月増築
体育館 昭和39年3月新築
プール 昭和44年7月新築

【教育目標】

「未来を拓く、心豊かでたくましい児童の育成」

【学校経営の方針】

- 1 志をもち未来を創造するたくましい心をもつ児童を育てるため、豊かな人間性と健やかな体の育成を目指す。
- 2 「確かな学力」を育成するため、児童のつまずきの解消や系統性を重視した指導の充実と教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育の推進に取り組む。

【目指す学校像】 花と歌声と笑顔のある学校

- (1) 児童の笑顔と活気に満ちた学校
- (2) 安全・安心で心の居場所のある学校
- (3) 地域と共に歩む学校

山一小イメージキャラクター

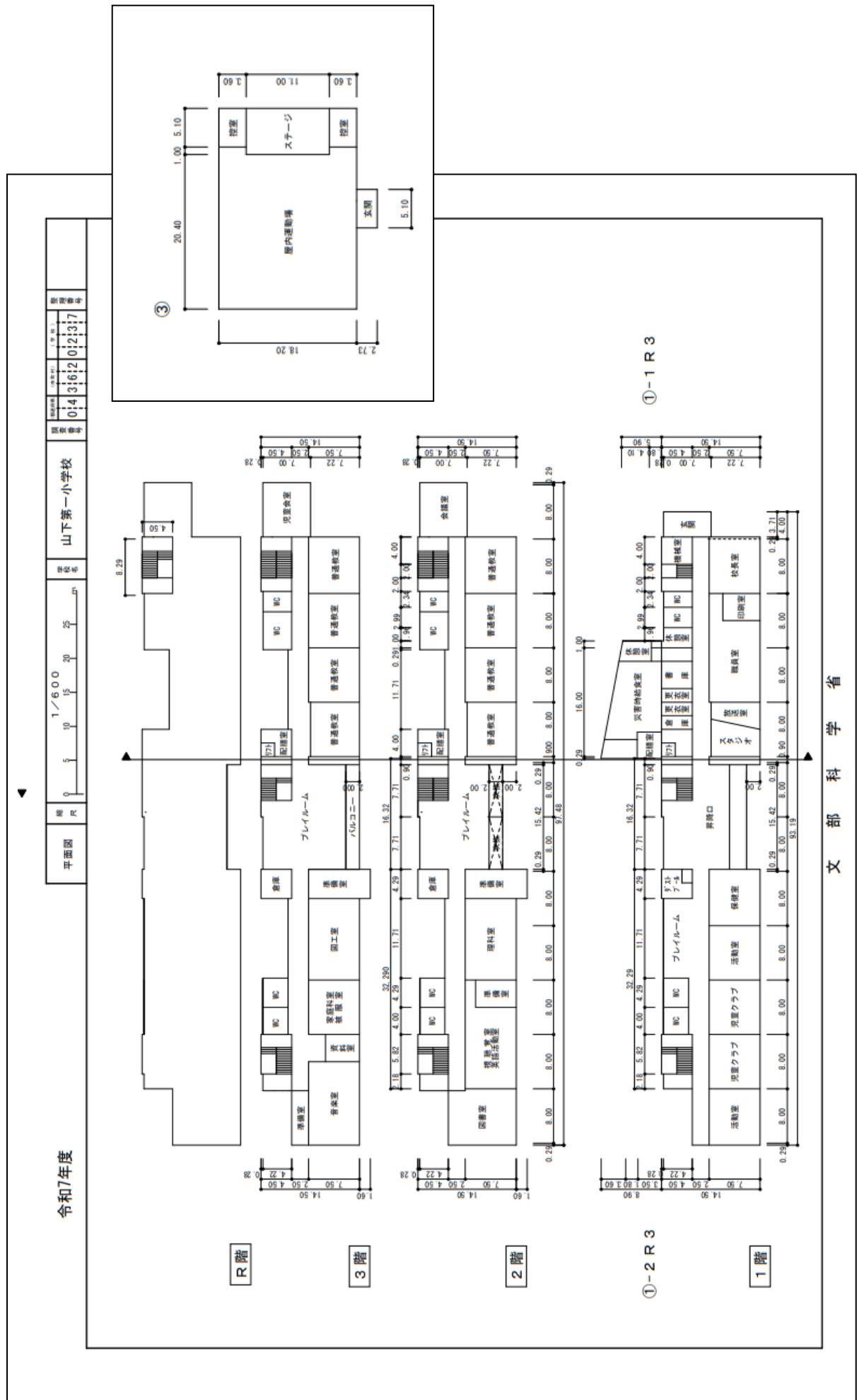
さくらちゃん

【目指す児童像】 【明るく元気に学ぶ児童】

- (1) やさしく（明るく思いやりのある児童）
- (2) かしこく（自分で考え進んで学ぶ児童）
- (3) たくましい（粘り強く体力づくりを頑張る児童）



(校舎平面図)



山下第二小学校

- 1 所在地 山元町つばめの杜一丁目3番地
電 話：0223-37-0072 FAX：0223-37-6203
- 2 開 校 年 大正9年4月13日
- 3 開校記念日 4月13日
- 4 建 築 年 月 校 舎 昭和62年3月新築
体育館 昭和62年3月新築 } 平成25年3月 解体
プール 昭和62年9月新築
平成23年3月 東日本大震災により被災し、翌4月から山下小学校に併設
平成28年8月 新校舎落成

【教育目標】

夢や志を持ち 主体的に学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成

〈やり通す子ども、まなび合う子ども、にこやかな子ども〉

【学校経営の方針】

- ① 夢や志を持ち、「確かな学力・豊かな心・たくましい体」育成する
- ② 保護者・地域と連携・協力し、「開かれた学校づくり」を進める
- ③ 「チーム山二小」として、創意と活力に満ちた学校を目指す

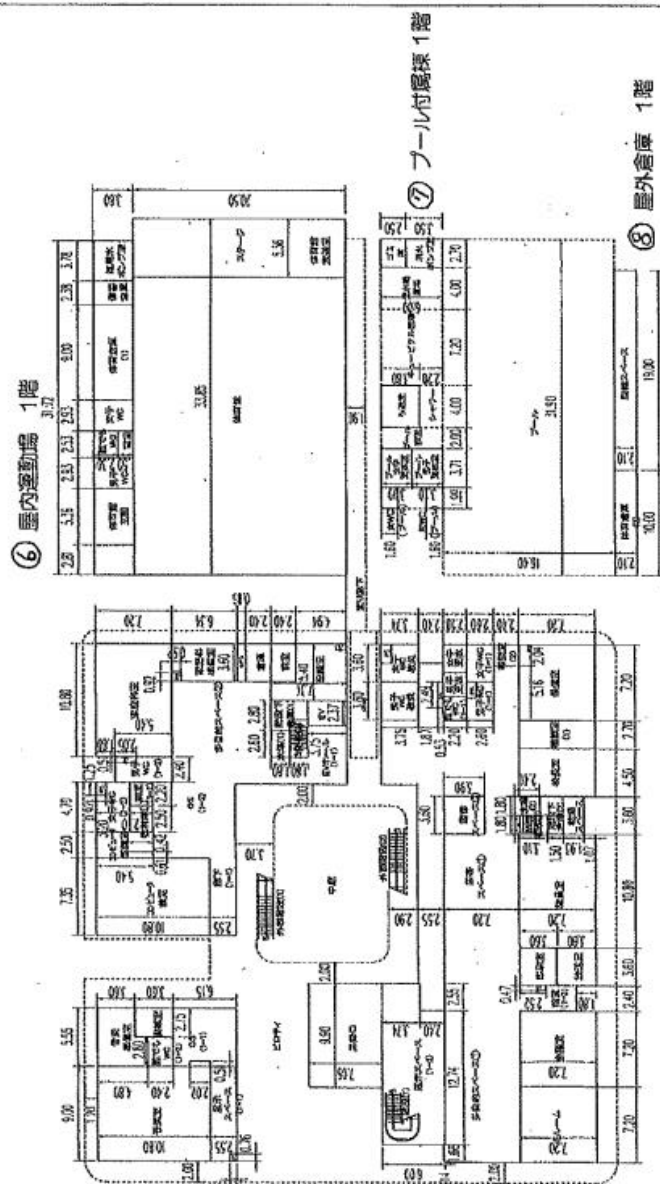
【目指す学校像】

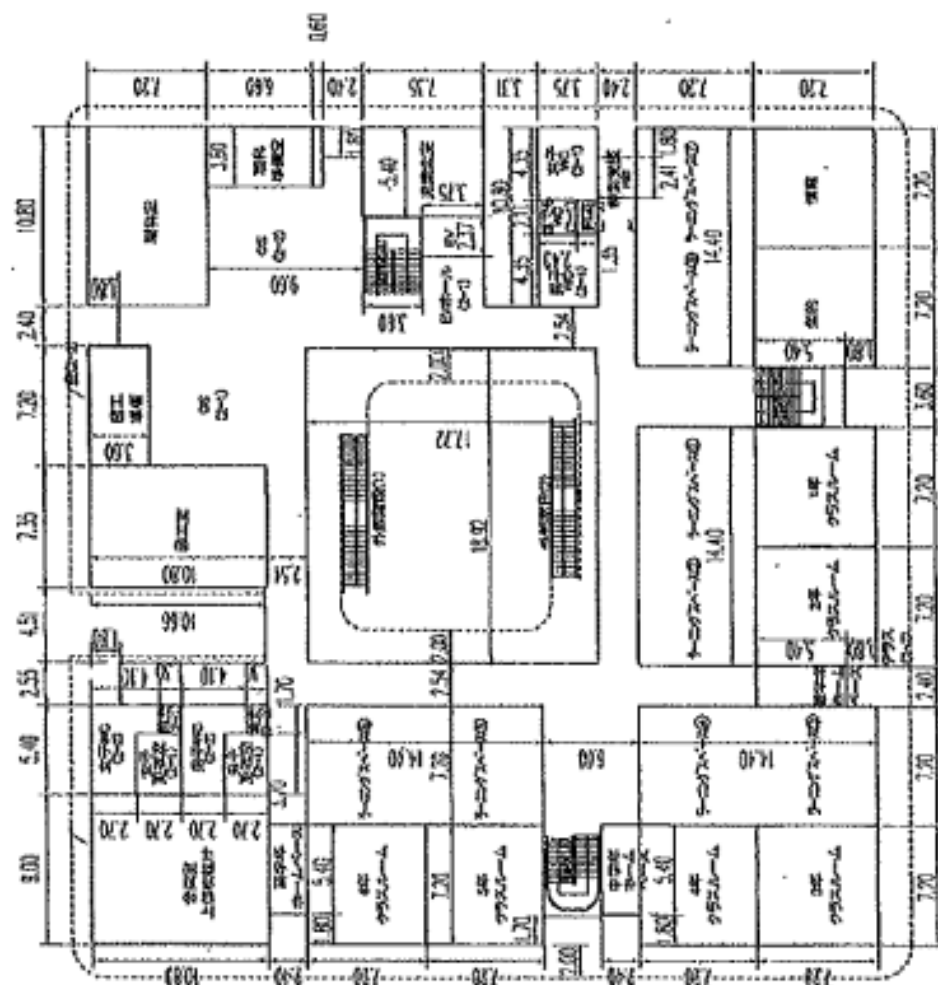
- ・前向きに取り組む学校（常に挑戦し、知恵を出し合う）
- ・ともに学び合う学校（児童一人一人を大切に考える）
- ・家庭・地域との連携を大切にする学校（CSとして地域と共に成長する）

【目指す児童像】

- 1 やり通す子ども （心も体もたくましく、粘り強くやり通す子ども）
- 2 まなび合う子ども （主体的に考え、お互いに学び合う子ども）
- 3 にこやかな子ども （相手を思いやり、仲良く笑顔で挨拶のできる子ども）

令和7年度

[illegible]



樓 2 校舍 ⑤

山 元 中 学 校

1 所 在 地 山元町山寺字畑中29番地

電 話：0223-37-0032 FAX：0223-37-4330

2 開 校 年 令和3年4月1日

3 建 築 年 月 校 舎 平成14年4月18日

新築一期工事完成 平成15年3月二期工事完成

体育館・音楽棟 平成15年2月新築完成

プール・駐車場 平成15年11月新築完成

【教育目標】

「郷土を愛し、未来に向かって、自ら学び、心豊かで、たくましい生徒の育成」

校 訓	自立	至誠	健康
-----	----	----	----

【学校経営の方針】

- (1) 出会いを大切にし、「共に成長する」学校づくりに努め、生徒一人一人の個性や能力を伸ばすよう理解と支援に努める。
- (2) 生徒一人一人、また教職員にとって魅力ある学校づくりを行う。
- (3) 全職員が主体的に、協働しながら取り組む中で、豊かな人間性を育む。

※ 令和3年3月に町内の坂元中学校と山下中学校が共に閉校し、同4月に山元町内唯一の中学校として開校した。校舎は、旧山下中学校の校舎を活用しているが、平成15年に建築された校舎は、県内外に誇れるすばらしい施設・設備を持つ学校である。東日本大震災からの復旧・復興の途上にあり、新たな山元町を築くため地域・産業の発展に貢献する生徒の育成が地域の要望であり、それに応えることが学校の大きな役割である。

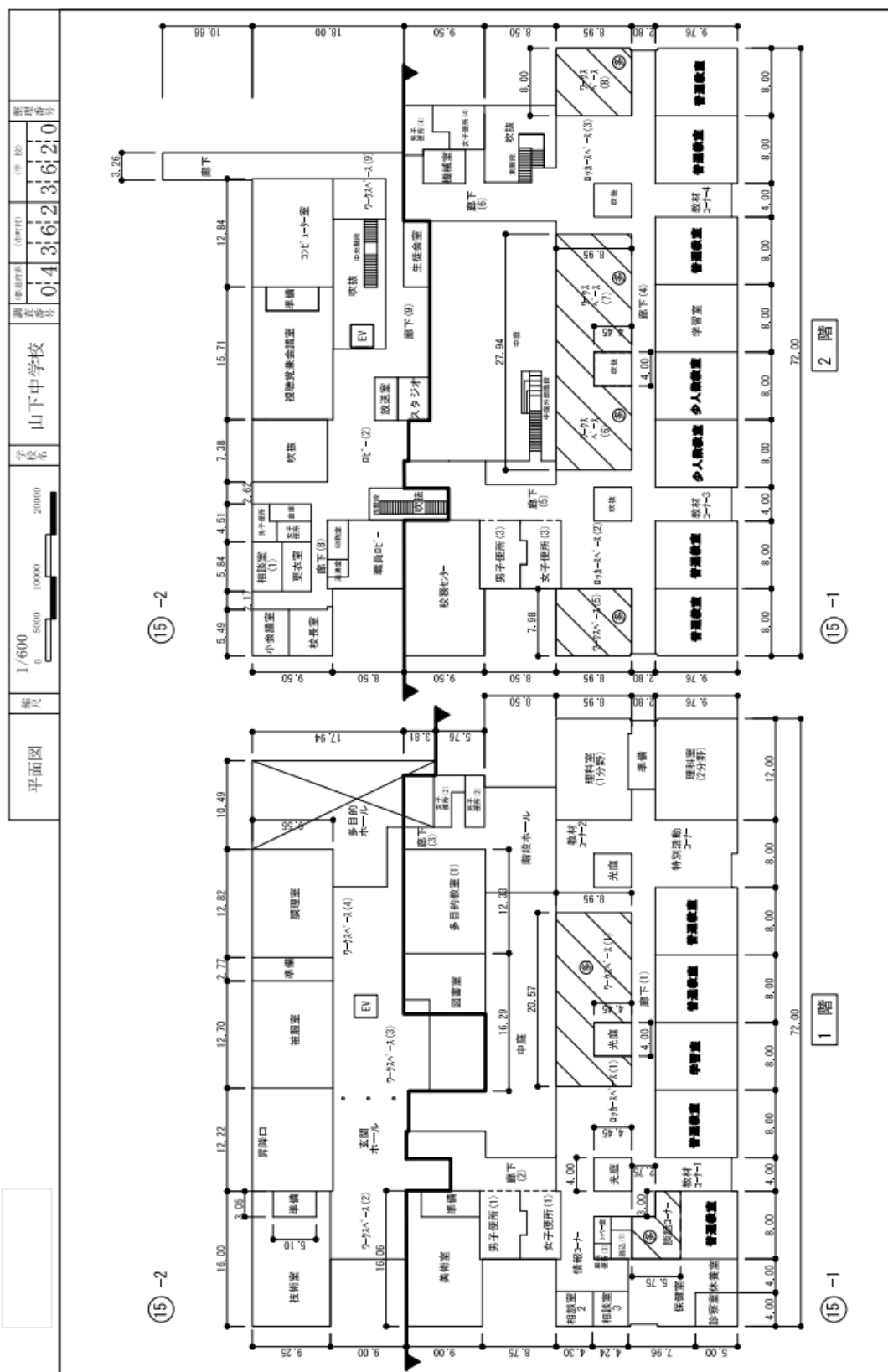
【目指す学校像】

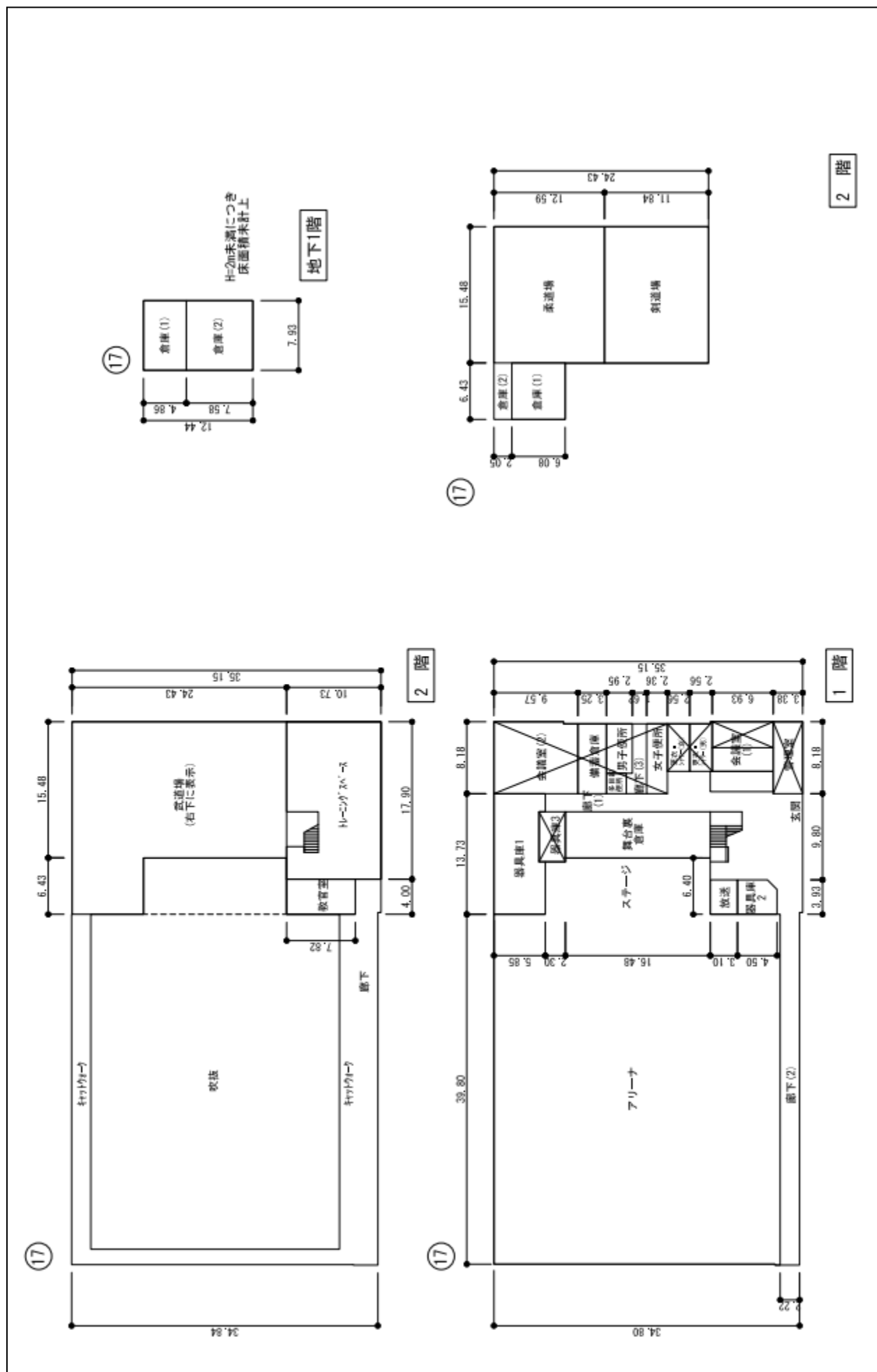
- (1) 明るい挨拶の声が響く学校
- (2) 共に学び、心のふれあいと感動に満ちた学校
- (3) 地域や保護者の信頼と期待に応える学校

【目指す生徒像】

- (1) 志を持ち、夢や希望に向かって、自ら学び、粘り強く努力する生徒
- (2) 誠実さがあり、自他への思いやりと奉仕の心を持った、心豊かな生徒
- (3) 心身ともに健康でたくましい生徒

(校舎平面図)





山元町子どもの心のケアハウス 「ケアハウスMIRAI山元」

- 1 所在地 山元町浅生原字日向12番地1
電話：0223-37-2213 FAX：左記に同じ
- 2 設置 平成31年4月1日

3 ケアハウスMIRAI山元の取組

山元町子どもの心のケアハウス「ケアハウスMIRAI山元」は、様々な事情により学校への登校が難しい状況にあるお子さんが、安心して過ごせる「居場所」とともに、一人一人の個性や教育的ニーズに応じた支援を行っています。

更に、基本的な生活習慣を見直すとともに、社会性やコミュニケーション能力を育む場として、様々な体験活動を行っています。併せて、保護者を対象とした相談支援も行っています。

4 開設日時

(1) 月曜日から木曜日 午前8時45分から午後3時30分まで

(2) 金曜日 午前8時45分から正午まで

※通所時間は、実情・実態に合わせて相談して決めます。

※送り迎えは、保護者の責任でお願いいたします。

5 活動内容

(1) 学習活動…学びたい教科、教科の補充等、一人一人に応じた学習を行います。

(2) 体験活動…工作や手芸、陶芸等、一人一人の興味関心に応じて活動します。

(3) フリー…コミュニケーション力を養う活動を行ったり自由な時間を過ごしたりします。

6 通所の手続き

通所を希望する場合は、学校へお申し出ください。保護者と学校による教育相談の後、ケアハウスでの体験通所を行います。その後、希望に応じて正式な通所となります。

【目的】

「ケアハウスMIRAI山元」は、山元町内小・中学校に在籍し、学校への登校が難しい状況にある児童・生徒の学校復帰や自立に向けての支援、保護者の教育相談等を目的に設立

【取組】

「ケアハウスMIRAI山元」は、通所する児童・生徒にとって安心して過ごせる居場所であるとともに、一人一人の個性や教育的ニーズに合わせた支援を行っています。また、基本的な生活習慣を再確認し、自尊感情を育てコミュニケーションを培う場として様々な体験活動を行っています。

【支援方針】

(1) 児童・生徒への支援

児童・生徒が安心して過ごせる居場所を提供し、一人一人の教育的ニーズに応じた学習や活動を支援します。また、悩みや不安に対する相談や心のサポートも行います。

(2) 保護者への支援

教育相談の窓口となり、必要に応じてSSW（スクールソーシャルワーカー）や関係機関と連携しながら、保護者への支援を行います。

(3) 学校との連携

小・中学校と連携し、児童・生徒の学習状況や活動の様子、心身の状態などについて情報を共有しながら、一人一人の状況に応じた継続的な支援につなげます。

15 令和8年度社会教育の方針

山元町教育基本方針に則り、家庭・地域・学校の協働による教育活動を推進するとともに、社会教育全般にわたる諸条件の整備に努め、にぎわいと活気のある生涯学習、芸術文化活動、スポーツ活動に満ちた生涯学習社会の実現を目指す。

－重点目標及び推進方策－

1 生涯学習の推進

- (1) 町民一人ひとりが、生涯にわたって自発的に学習し、豊かで生きがいのある生活を送ることができるように、学習機会の提供と学習場所の確保に努める。
- (2) 生涯学習に関する情報を積極的に発信し、町民の生涯学習活動を促進する。
- (3) 魅力ある地域人材の発掘と活用を図り、個々の能力を生かすことができる生涯学習社会の構築を目指す。

2 協働教育の充実・強化

- (1) 協働教育コーディネーターを配置し、家庭・学校・地域相互の連携を図り、協働教育を推進する。
- (2) 地域の人やものなど、地域の教育資源に関する情報の蓄積化を図るとともに、それらを活用した学習機会を創出する。
- (3) 協働教育に関する情報を積極的に発信し、地域全体で子どもを育てる機運の醸成を図る。
- (4) 家庭教育や子育てに関する学習機会を提供するとともに、家庭教育支援者の養成と活用を図り、家庭教育力の向上を目指す。
- (5) 小中学校の要望に応じて適切に人材等を紹介するなど、各学校における活動を支援し、協働教育の充実を図る。
- (6) 協働による教育活動への積極的な参加を促し、活動を通じてコミュニティ意識の醸成を図る。

3 青少年の健全育成の推進

- (1) 青少年の健全育成を推進するため、啓発活動を推進する。
- (2) 青少年を対象に体験活動の機会を創出し、活動を通じて心豊かでたくましい、青少年の健全育成を図る。
- (3) ジュニア・リーダーをはじめ、青少年の主体的・自主的活動を支援し、また、地域活動への積極的な参加を促すことにより、次代を担う地域人材の育成を促進する。

4 社会教育施設等の整備と学習活動支援の充実

- (1) 公民館をはじめとする社会教育施設の整備に努めるとともに、効率的・効果的な運用に努める。
- (2) 町民の様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習に関する情報の提供を行うとともに、学習活動を積極的に支援する。

5 社会体育施設等の適切な運営と生涯スポーツの振興

- (1) 町民体育館や令和7年7月にリニューアルオープンした深山山麓少年の森など、社会体育施設等の効率的・効果的な施設運営に努める。
- (2) 社会体育関係団体との連携を図り、組織活動の活性化を目指す。
- (3) 生涯スポーツに関する学習機会を提供するとともに、指導者の養成と活用を図り、生涯スポーツ活動の支援に努める。

6 社会教育関係団体の連携・協力体制の充実

- (1) 社会教育関係団体の育成と活動の支援に努める。
- (2) 社会教育関係団体への情報の提供を行なうとともに、活動の活性化を促進する。

7 芸術文化活動への支援

- (1) 芸術文化活動への積極的な参加を促し、文化のかおり高い町づくりを目指す。
- (2) 魅力ある芸術文化の鑑賞機会を提供し、芸術文化の振興を図る。

8 文化財の保全と継承

- (1) 町指定文化財「大條家茶室 此君亭」の活用を図る。
- (2) 町指定文化財と周辺環境の保全管理に努める。
- (3) 町内の各地域に受け継がれてきた伝統・伝承芸能の継承支援に努める。
- (4) 埋蔵文化財の発掘調査を適切に行い、積極的な保全に努めるとともに、先人の歴史を明らかにし、その活用を図る。
- (5) 文化財への理解と関心を高める取り組みを推進し、文化財愛護意識の向上に努める。

9 震災遺構の保存と活用

(1) 東日本大震災の被害

山元町は平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けた。

東日本大震災は千年、数百年に一度の災害とも言われているが、過去にも東北沿岸部では地震災害が発生しており、震災の記憶と経験を伝承していくことは、将来の災害へ備えつつ、被害の低減に繋がるものである。

(2) 震災遺構の整備目的

中浜小学校は東日本大震災の大津波から 90 名の命を守り、震災により小学校の歴史に幕を閉じたが、震災遺構として形を変え、未来の子どもたちへ、写真や映像では伝えきれない大津波の爪痕、震災の脅威を伝承していく、県南地域に残る貴重な被災建造物として、重要な役割を担う施設であるとの震災伝承検討委員会の提言を受け、保存整備工事を経て、令和 2 年 9 月より一般公開している。

(3) 中浜小学校 施設概要

- ・ 建築年：平成元年
- ・ 所在地：山元町中浜地内
- ・ 構造：鉄筋コンクリート造、地上2階建
- ・ 面積：延床面積 2,310.12㎡、敷地面積 17,469㎡
- ・ 建設時には、地域の方々の意見を踏まえ、津波への対策が施された校舎（校地の嵩上げ、避難を想定した外部階段等）

10 学校部活動の段階的地域移行（展開）

- (1) 学校部活動の段階的地域移行（展開）に向け、学校と地域との連携・協働により環境整備に取り組む。

無形民俗文化財一覧

区分	種 別	名 称
無形民俗文化財	神 楽	坂元神楽保存会
		中浜神楽保存会
		深山神楽保存会
		花釜神楽保存会
		當護稻荷大神楽保存会
	伝承民俗	笠浜甚句保存会
		坂元おけさ保存会



榧の老樹



蓑首城大手門



唐船番所日記



養賢堂の襖絵



唐船番所跡



大條家茶室 此君亭（しくんてい）

16 山元町の文化財

指定文化財一覧

令和8年4月1日現在

区分	種 別	名 称	内 容	所 在 地	指定年月日
町指定	記 念 物	唐船番所跡	異国船監視(220年間)跡	坂元字浜谷地	昭 47.9.18
	有形文化財	養賢堂の襖絵	東東洋の作で、仙台藩校養賢堂に掲げられていた	歴史民俗資料館	昭 47.9.18
	記 念 物	榎の老樹	樹齢約 700 年と言われる榎の老木	大平字館ノ内	昭 50.9.13
	有形文化財	竹に雀の紋章入り羽織と御達書	戊辰戦争の功績により下賜	歴史民俗資料館	昭 51.11.30
	有形文化財	唐船番所日記	異国船目撃時の様子を記した日記	歴史民俗資料館	昭 51.11.30
	有形文化財	琵琶並びにその古文書	座頭津多一坊・津佐一坊父子のもの	つばめの杜	昭 52.9.22
	記 念 物	養首城跡	正式名は坂本城および坂本要害。大條氏十代 252 年の居城跡	坂元字館下	昭 53.10.2
	有形文化財	霊仏霊社並に坂元戦記	坂元の歴史を知る上の唯一の古文書	歴史民俗資料館	昭 58.6.25
	有形文化財	大條家茶室 此君亭	養首城三の丸跡に移築された大條家ゆかりの茶室	坂元字館下	平 14.8.26
	有形文化財	養首城大手門	養首城三の丸跡に残る養首城の大手門	坂元字館下	平 14.8.26
	記 念 物	井戸沢横穴古墳群	古墳時代後期の横穴墓群	坂元字井戸沢	平 15.6.30
	記 念 物	愛宕山館跡	養首城以前の坂本氏の館跡	坂元字元寺	平 15.6.30
	記 念 物	中島館跡	藤原経清の館跡と伝えられている	高瀬字館下	平 15.6.30
	記 念 物	大條氏御廟	坂元の城主、大條家の霊廟 通称「おたまや」と呼ばれている	坂元字上西谷地	平 16.11.29

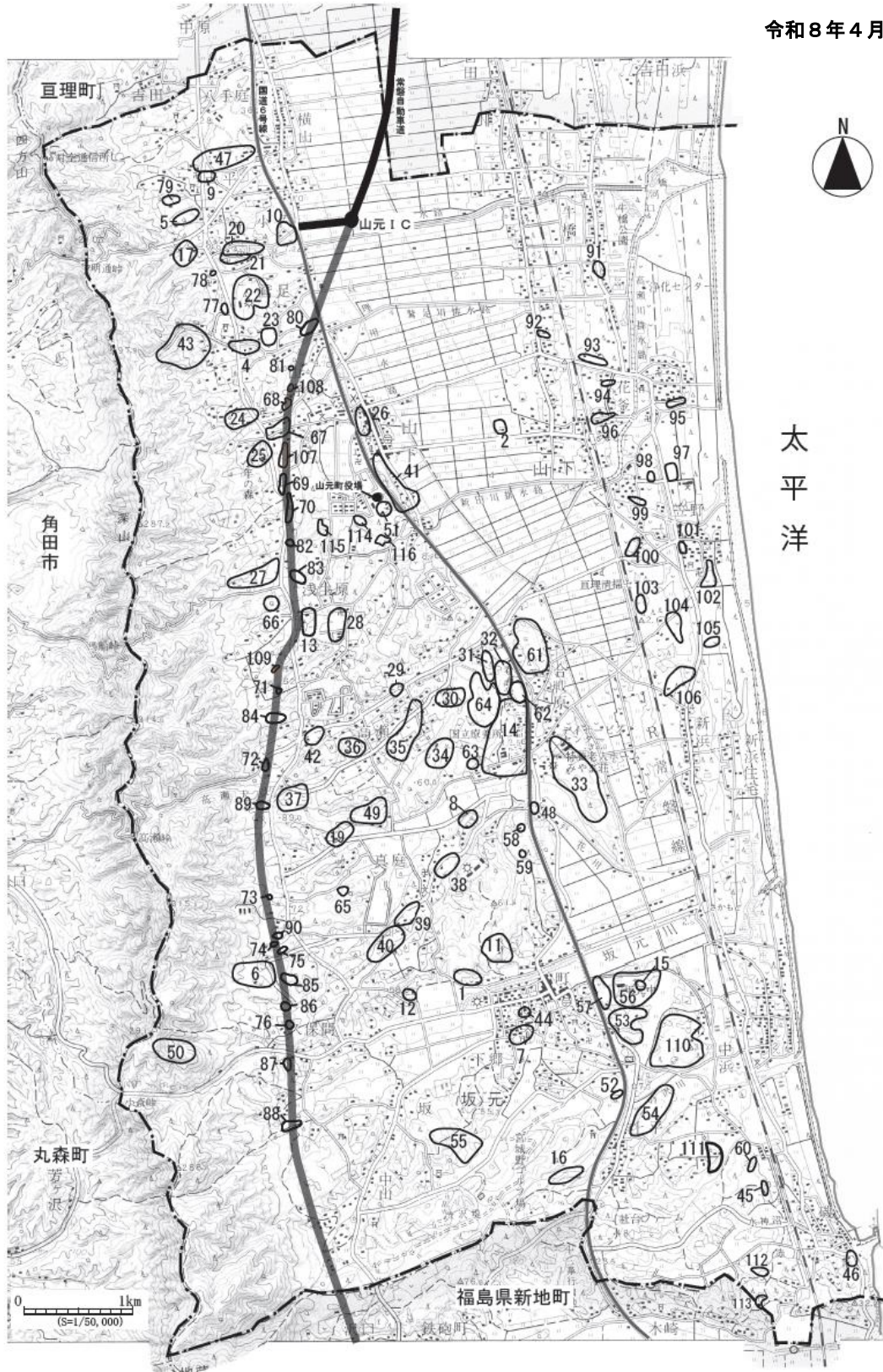
※「八重垣神社」については、東日本大震災により流出したため、平成24年2月24日指定解除。

※「蛇塚と松」については、枯損のため、平成28年2月18日指定解除。

※「板倉」については、当初の指定内容と異なる事実が判明したため、令和5年5月25日指定解除。

山元町遺跡地図

令和8年4月1日現在



山元町遺跡一覧表

令和8年4月1日現在

番号	遺跡名	種別	行政区	備考	番号	遺跡名	種別	行政区	備考
1	井戸沢横穴墓群	横穴墓	下郷	町史跡	59	北越塚	塚	町	
2	新田遺跡	散布地	花釜		60	東作経塚	経塚	中浜	
3	欠番				61	合戦原B遺跡	製鉄	高瀬	
4	中島貝塚	貝塚	鷺足		62	合戦原C遺跡	古墳群	合戦原	
5	味噌野横穴墓群	横穴墓	大平		63	北名生東B窯跡	窯跡	真庭	
6	影倉遺跡	散布地	久保間		64	大久保B遺跡	散布地	高瀬	
7	蓑首城跡	城跡	下郷	町史跡	65	北権現遺跡	製鉄	真庭	
8	上台遺跡	散布地	真庭		66	山王遺跡	製鉄	浅生原	
9	館の内遺跡	遺物包含地	大平		67	谷原遺跡	集落	山寺	
10	北経塚遺跡	散布地・経塚	小平		68	日向遺跡	集落	山寺	
11	愛宕山館跡	城館	下郷	町史跡	69	石垣遺跡	集落	山寺	
12	日向遺跡	散布地	久保間		70	的場遺跡	集落	山寺	
13	浅生原遺跡	散布地	浅生原		71	上宮前遺跡	散布地	浅生原	
14	合戦原遺跡	集落・円墳・窯跡	合戦原		72	北山神遺跡	散布地	高瀬	
15	狐塚古墳群	円墳	町		73	新田B遺跡	散布地	真庭	
16	一の沢遺跡	散布地	上平		74	影倉B遺跡	散布地	久保間	
17	清水遺跡	散布地	小平		75	影倉C遺跡	散布地	久保間	
18	欠番				76	荷駄場遺跡	散布地	久保間	
19	北鹿野遺跡	散布地	真庭		77	北遺跡	散布地	鷺足	
20	小平館跡	城館	小平		78	北ノ入遺跡	散布地	小平	
21	館横穴墓群	横穴墓	小平		79	味噌野遺跡	散布地	大平	
22	山崎横穴墓群	横穴墓	鷺足		80	中筋遺跡	水田・包含層・墓域	鷺足	
23	中道遺跡	散布地	鷺足		81	赤坂遺跡	散布地	山寺	
24	石堂遺跡	散布地	山寺		82	山王B遺跡	集落	浅生原	
25	山寺館跡	城館	山寺		83	内手遺跡	製鉄・生産	浅生原	
26	作田山館跡	城館	山下		84	西石山原遺跡	集落	高瀬	
27	入山遺跡	散布地	山寺		85	影倉D遺跡	製鉄	久保間	
28	下大沢遺跡	散布地	浅生原		86	荷駄場B遺跡	散布地	久保間	
29	宮後遺跡	散布地	高瀬		87	上小山遺跡	散布地	中山	
30	大久保遺跡	散布地	高瀬		88	法羅遺跡	散布地	中山	
31	館下窯跡	窯跡	高瀬		89	南山神B遺跡	散布地	高瀬	
32	中島館跡	城館	高瀬	町史跡	90	影倉E遺跡	散布地	久保間	
33	戸花山遺跡	窯跡	町		91	北泥沼遺跡	散布地	牛橋	
34	北名生東窯跡	窯跡	真庭		92	泥沼遺跡	散布地	花釜	
35	室原遺跡	散布地	高瀬		93	畑合遺跡	散布地	花釜	
36	北の原遺跡	散布地	高瀬		94	北頭無遺跡	散布地	花釜	
37	南山神遺跡	散布地	高瀬		95	浜遺跡	散布地	花釜	
38	原遺跡	散布地	真庭		96	頭無遺跡	散布地	花釜	
39	浅生遺跡	散布地	真庭		97	花笠遺跡	散布地	笠野	
40	南権現遺跡	散布地	真庭		98	西北谷地A遺跡	散布地	笠野	
41	山下館跡	城館	山下		99	西北谷地B遺跡	散布地	笠野	
42	石山原遺跡	散布地	高瀬		100	西須賀遺跡	散布地	笠野	
43	鷺足館跡	城館	鷺足		101	笠野A遺跡	散布地	笠野	
44	館下遺跡	散布地	下郷		102	笠野B遺跡	散布地	笠野	
45	大壇小壇十三壇	塚	磯		103	北中須賀遺跡	散布地	笠野	
46	唐船番所跡	番所	磯	町史跡	104	狐須賀遺跡	散布地	笠野	
47	大平館跡	城館	大平		105	笠浜遺跡	散布地	笠野	
48	貝吹城跡	城跡	真庭		106	新浜遺跡	散布地	新浜	
49	真庭館跡	城館	真庭		107	涌沢遺跡	集落	山寺	
50	新城山古館跡	城館	久保間		108	日向北遺跡	集落	山寺	
51	日向窯跡	窯跡	浅生原		109	上宮前北遺跡	製鉄	浅生原	
52	作田横穴古墳群	横穴墓	町		110	犬塚遺跡	集落・生産	町	
53	熊の作遺跡	集落	町		111	新中永窪遺跡	集落・生産	中浜	
54	駒場原遺跡	散布地	上平		112	雷神遺跡	集落・生産	磯	
55	川内遺跡	製鉄	中山		113	山ノ上遺跡	散布地・生産	磯	
56	狐塚遺跡	集落・生産	町		114	作田山遺跡	製鉄	浅生原	
57	向山遺跡	集落・生産	町		115	内手B遺跡	製鉄・生産	浅生原	
58	卯月崎塚	塚	真庭		116	作田山B遺跡	生産	浅生原	

(2002年から番号は宮城県遺跡地図中の登録番号に合わせている)

17 体育施設の運営方針

山元町教育基本方針に基づき、町民にとって生きがいづくりや健康の保持・増進などにつながるよう、スポーツの振興及び普及に努めるとともに、効率的かつ効果的な施設運営を目指す。

重点目標

- 1 開かれた運営のもとに町民の平等な利用を確保し、施設の有効活用を図る。
- 2 社会体育団体の育成とスポーツ協会の組織の充実強化
- 3 スポーツ推進委員による各種スポーツの普及
- 4 各スポーツの特性に対応した指導者の育成

町民グラウンド及び町民体育館

グラウンド面積 20,300 m²



※令和3年2月13日及び令和4年3月16日に発生した福島県沖地震の復旧工事等が令和5年5月31日に完了したことから、再オープンのための準備を経て、令和5年8月24日に町民体育館をリニューアルオープンした。

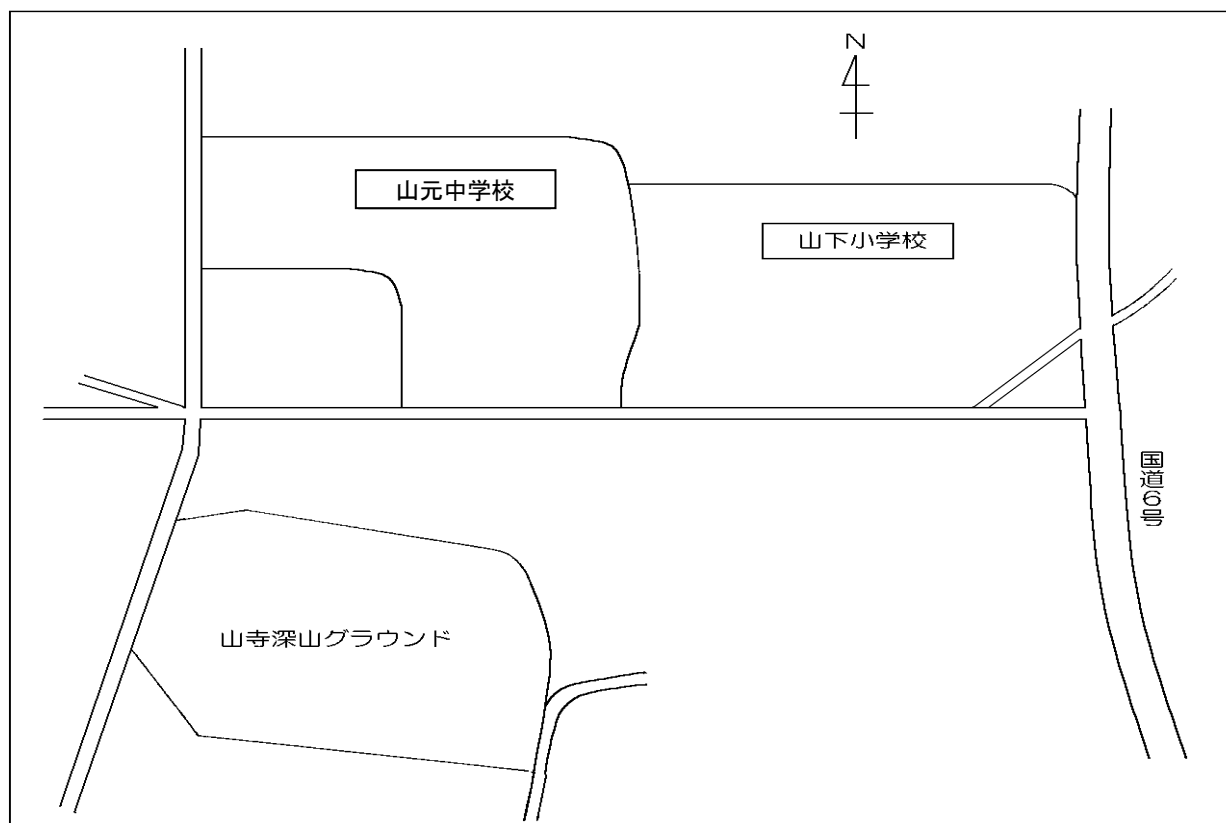
真庭グラウンド

グラウンド面積 6,500 m²



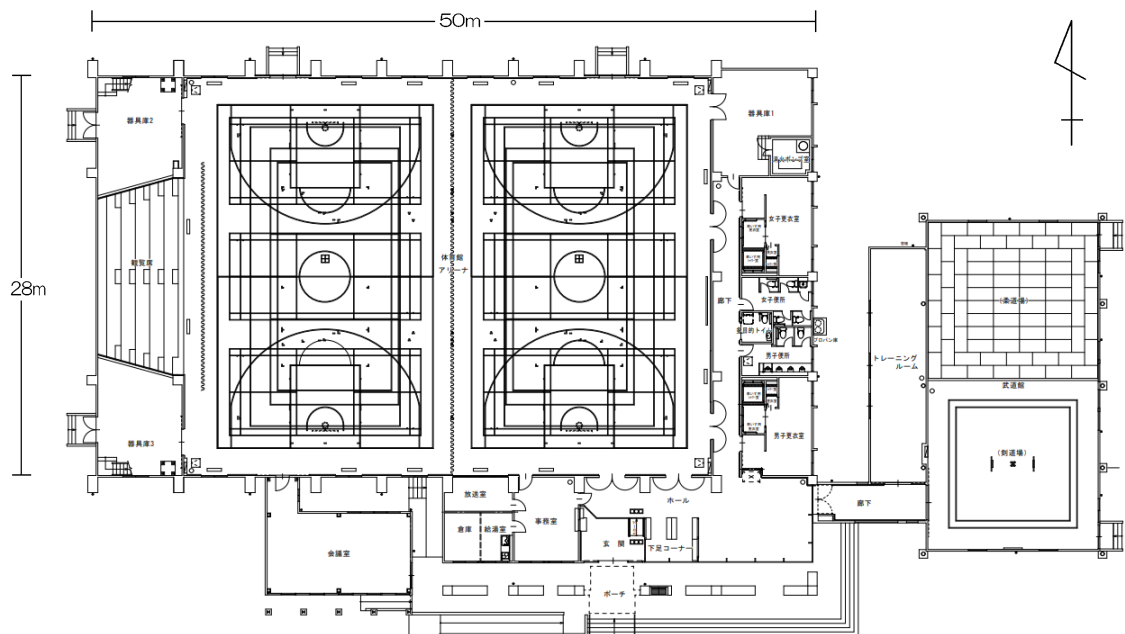
山寺深山グラウンド(私有地借用)

グラウンド面積 6,527 m²



町民体育館（体育文化センター・武道館）見取図

- 1 所在地 山元町高瀬字合戦原100番地1
- 2 建築 昭和53年5月20日 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
昭和55年3月 武道館（増築）
昭和63年 会議室（増築）
令和5年5月31日 長寿命化改修等工事（完成）
- 3 面積 体育文化センター（会議室含む）1,622.04㎡
武道館 364.78㎡



〔体育文化センター〕

施設名称	面積(㎡)
・アリーナ（A面・B面）	1,036.00
・観覧席	102.00
・事務室	27.60
・放送室	12.16
・給湯室	17.03
・玄関ホール	97.80
・廊下	42.00
・男子更衣室（シャワー室）	35.00
・女子更衣室（シャワー室）	35.00
・男子トイレ	15.30
・女子トイレ	15.30
・多目的トイレ	4.40
・器具庫1	44.31
・器具庫2	33.00
・器具庫3	33.00
・ポンプ室	8.40

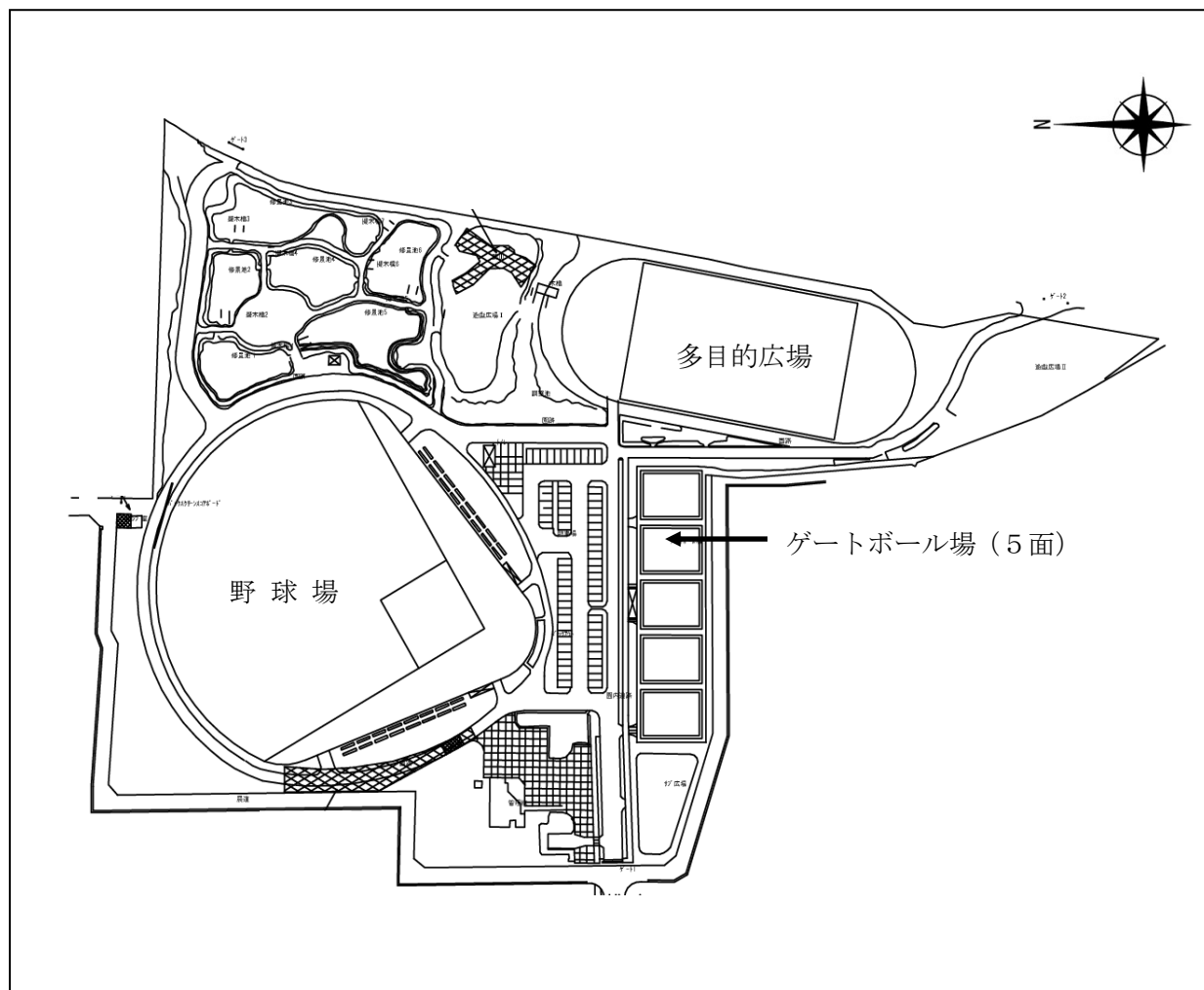
〔体育文化センター〕

施設名称	面積(㎡)
・会議室	63.74
施設合計	1,622.04

〔武 道 館〕

施設名称	面積(㎡)
・柔道場	138.59
・剣道場	138.59
・トレーニング室	66.00
・廊下	21.60
施設合計	364.78

牛橋公園（野球場・ゲートボール場・多目的広場）



■施設維持管理：施設管理課

■利用調整：生涯学習課

■利用受付・貸出：中央公民館

18 公民館・勤労青少年ホームの運営方針

山元町教育基本方針に基づき、明るく住みよい町づくりを目指し、生涯学習の振興とその充実を図るとともに、社会教育施設としての機能を高め、健康で豊かな情操と道徳性を備え、創造性に富む活力ある人間形成と潤いのある生活文化の向上に努めるため、「集まる」「学ぶ」「つなぐ」「広める」生涯学習の「実践の場」として、公民館・勤労青少年ホームの機能の整備・充実を図る。

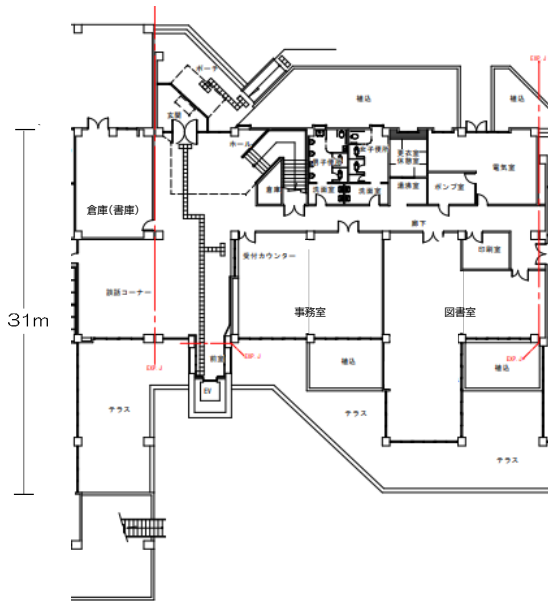
重 点 目 標

- 1 地域活動への支援に努め、活性化を図る
- 2 家庭教育の充実を図り、「生きる力」の育成を目指す
- 3 青少年活動の拠点としての機能充実に努め、青少年の健全育成を図る
- 4 町民の多様化するニーズに応じた成人教育の推進と普及に努める
- 5 文化団体の活動支援と広報活動を推進する
- 6 図書室の充実と利用を促進する

中央公民館見取図

- 1 所在地 山元町浅生原字日向12番地1
 2 建築 昭和55年 3月25日 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建（完成）
 平成15年11月20日 バリアフリー化工事（完成）
 平成15年12月 エレベーター室（増設）
 平成26年12月 耐震補強工事（完成）
 3 面積 1,947.80㎡

[1階]



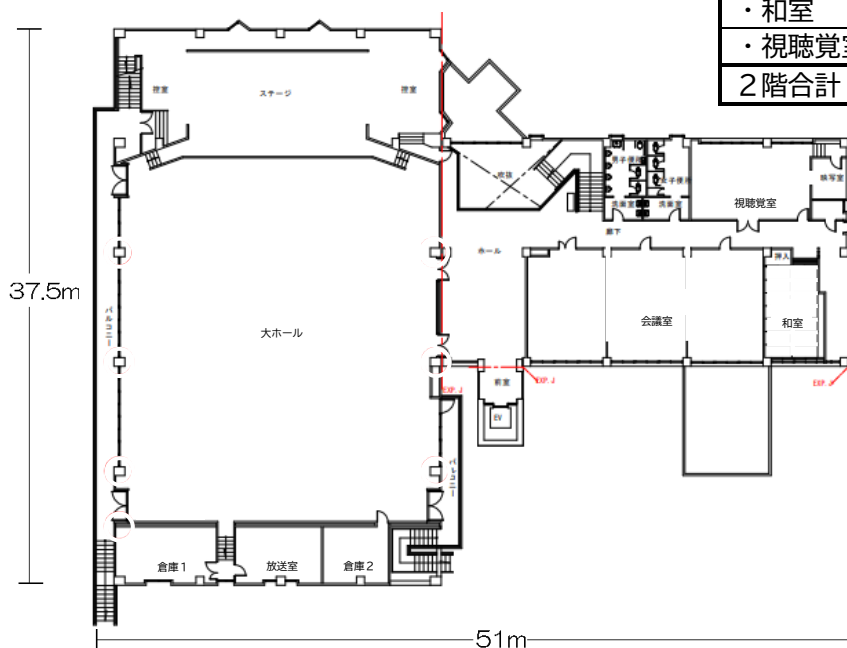
[中央公民館 1階]

施設名称	面積(㎡)
・談話コーナー（ロビーほか）	171.60
・事務室	86.77
・図書室	118.19
・資料室（旧印刷室）	9.76
・トイレ（男女）	32.61
・電気室／ポンプ室	44.00
・倉庫（書庫）	41.25
・倉庫	47.20
・更衣室／湯沸室	15.32
・エレベーター室	35.68
1階合計	602.38

[中央公民館 2階]

施設名称	面積(㎡)
・大ホール（客席部）	584.94
・大ホール（ステージ）	176.42
・放送室（調整室）	24.75
・倉庫1（旧機械室）	15.00
・倉庫2	25.88
・調光器置き場／控室（大ホール2.5階）	106.25
・ホール入口フロアほか	149.99
・トイレ（男女）	32.61
・会議室	130.98
・和室	42.78
・視聴覚室	55.82
2階合計	1,345.42

[2階]



勤労青少年ホーム見取図

- | | |
|-------|---|
| 1 所在地 | 山元町浅生原字日向12番地1 |
| 2 建築 | 昭和55年 3月25日 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建（完成） |
| 3 面積 | 833.20㎡ |
| 4 特記 | 令和3年7月 社会福祉協議会使用開始（1階事務室ほかを賃貸）
令和6年3月 1階ロビーの一部を改装
令和6年4月 ケアハウスMIRAI山元使用開始 |

〔勤労青少年ホーム 1階〕



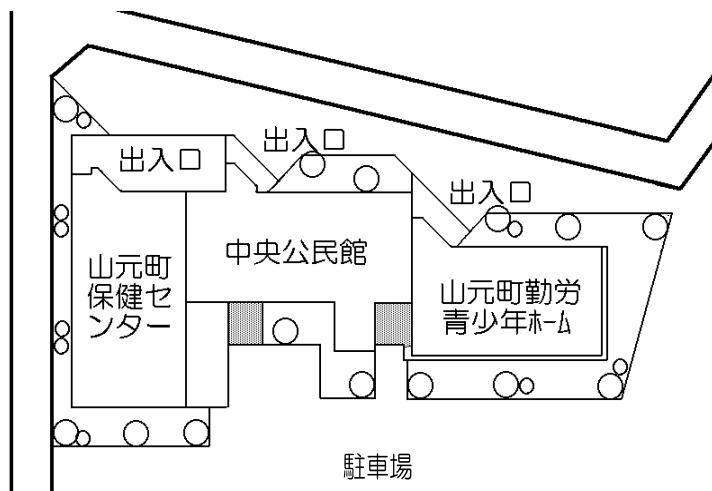
施設名称	面積(㎡)
・ホール・廊下	87.16
・階段	4.06
・ケアハウス事務室（R6 新設）	51.75
・社会福祉協議会事務室（旧講義室）	86.64
・社会福祉協議会（旧相談室）	21.20
・社会福祉協議会（旧和室）	25.17
・ケアハウス（旧集会室）	42.35
・調理実習室	51.30
・湯沸室	8.05
・トイレ（男女）	31.35
・倉庫	11.64
・玄関・プロパン庫	10.86
1階合計	431.53

〔勤労青少年ホーム 2階〕



施設名称	面積(㎡)
・軽運動場	284.98
・倉庫1	12.00
・倉庫2（旧男子更衣室）	9.00
・倉庫3（旧女子更衣室）	9.80
・音楽室	43.89
・ホール・廊下	27.90
・階段	14.10
2階合計	401.67

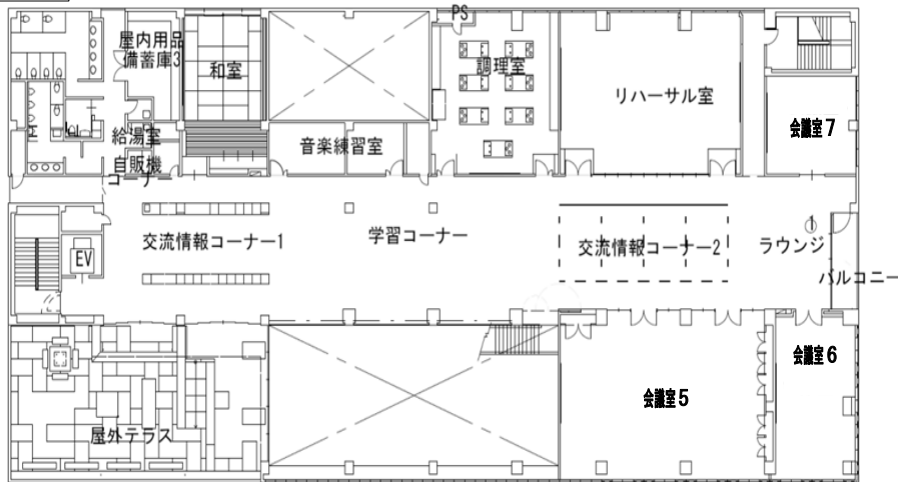
〔施設全体の見取図〕



山元町防災拠点・山下地域交流センター見取図 (愛称：つばめの杜ひだまりホール)

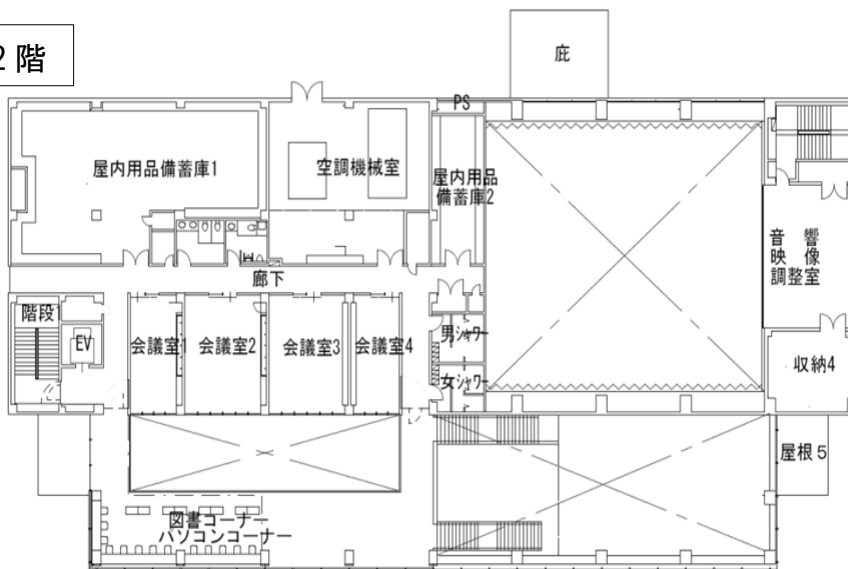
- 1 所在地 山元町つばめの杜一丁目 8 番地
- 2 建 築 平成 29 年 8 月 23 日 鉄筋コンクリート造 3 階建
- 3 面 積 建物 3,857.21 m²

3 階



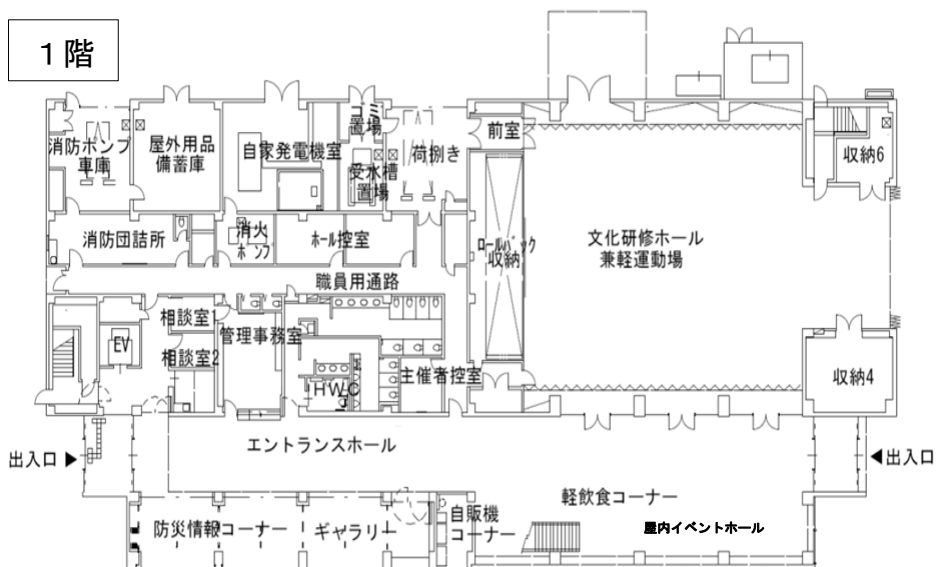
3 階	名 称	m ²
	リハーサル室	129
	会議室 5	159
	会議室 6	61
	会議室 7	40
	調理室	70
	和 室	62
	交流情報・ 学習コーナー	463

2 階



2 階	名 称	m ²
	会議室 1	27
	会議室 2	42
	会議室 3	42
	会議室 4	27
	図書・ パソコンコーナー	140
	シャワー室 (男女)	23
	音響・映像調整室	59

1 階



1 階	名 称	m ²
	防災情報コーナー・ ギャラリー	97
	屋内イベントホール	72
	エントランスホール	277
	文化研修ホール	435
	相談室 1・2	24
	消防団詰所	29
	管理事務室	31

山元町防災拠点・坂元地域交流センター（坂元公民館）見取図 （愛称：ふるさとおもだか館）

- 1

所在地

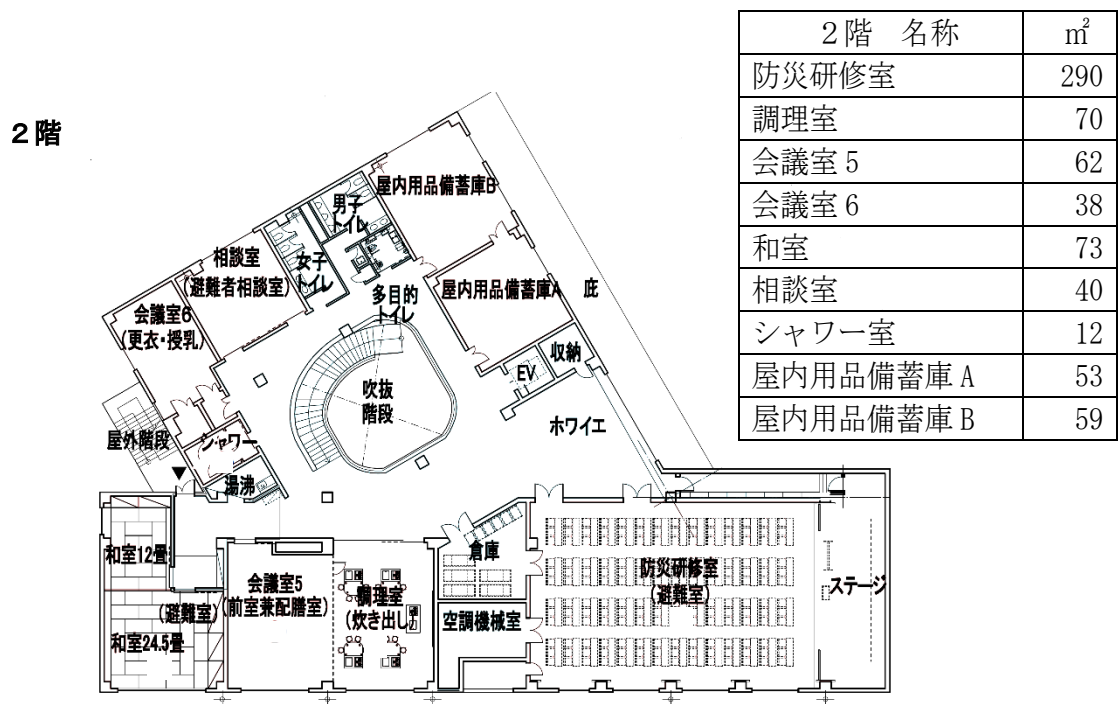
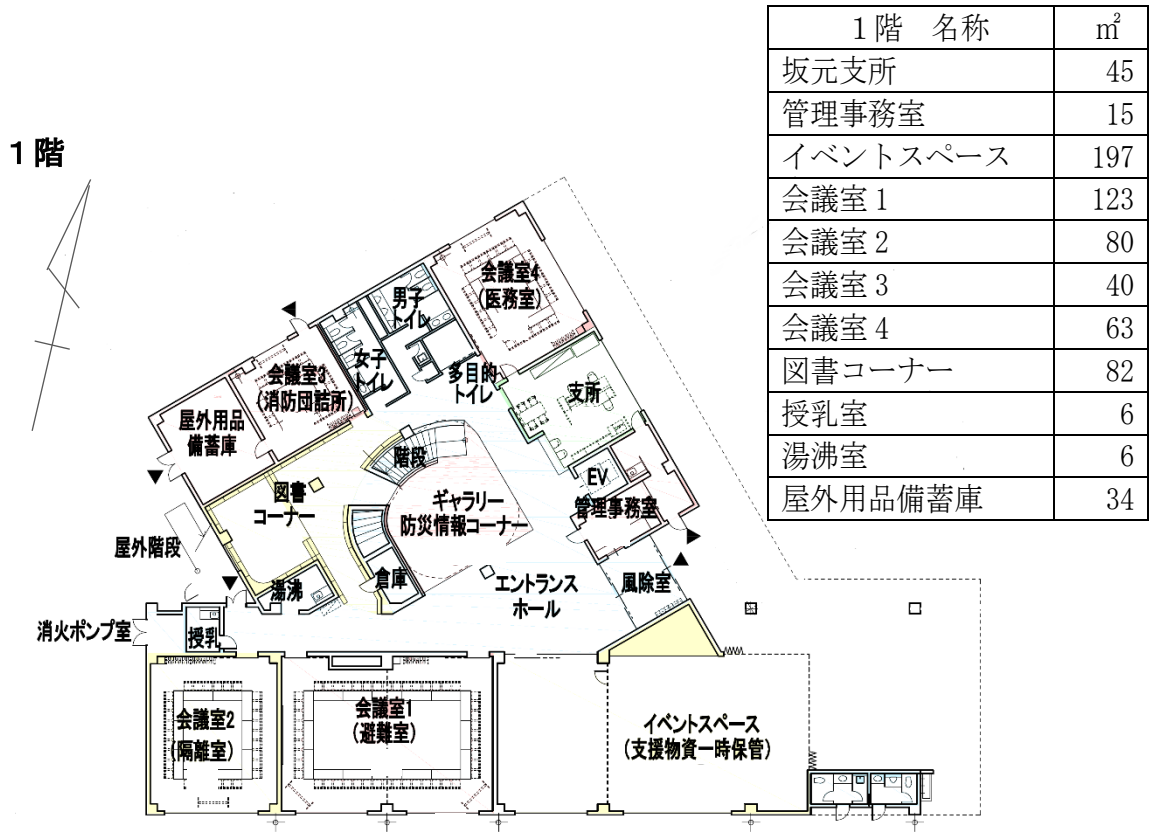
山元町坂元字町東1番地60
- 2

建築

平成29年5月31日 鉄筋コンクリート造 2階建
- 3

面積

建物 2,228.39㎡



19 歴史民俗資料館運営方針

山元町教育基本方針に基づき、明るく住みよい町づくりを目指し、祖先の築いてきた郷土の歴史を明らかにするとともに、民俗資料、自然環境に関する資料を収集保管し後世に継承しながら公開伝承を図り、町民の文化の向上に資する。

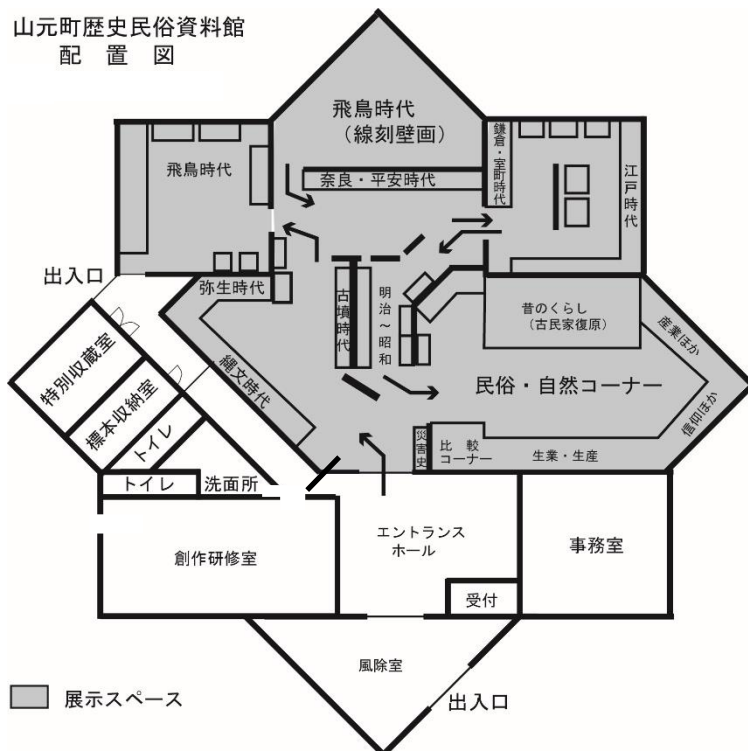
また、東日本大震災を後世に語り継ぐとともに、その関係資料の整理・保存を行う。

重点目標

- 1 考古、歴史、民俗、自然環境等に関する資料の収集分類・整理を行い、適正に保存する
- 2 資料に関する調査研究を行い、定期的に展示し、成果を公開する
- 3 資料に関する伝承及び創作活動を積極的に行う
- 4 企画展関連の講演会、講習会、研究会等を開催する
- 5 他機関並びに学校との連携を図り事業を行う
- 6 東日本大震災の後世への伝承と収蔵品の整理を行う

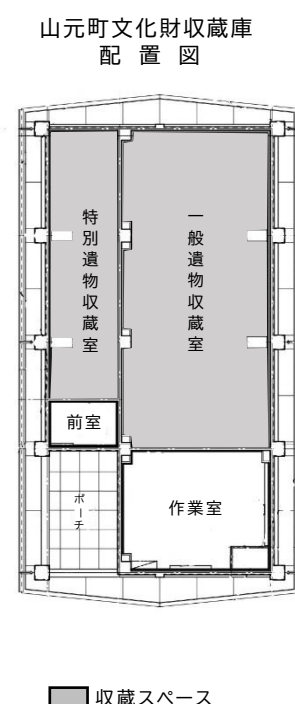
歴史民俗資料館見取図

- 所在地 山元町浅生原字日向13番地5
- 建築 平成元年3月 RC造平屋建
平成30年11月展示室リニューアル
- 面積 706.62㎡



文化財収蔵庫見取図

- 山元町浅生原字日向13番地5
- 令和2年11月 RC造平屋建
- 198.79㎡



20 ふるさと伝承館運営方針

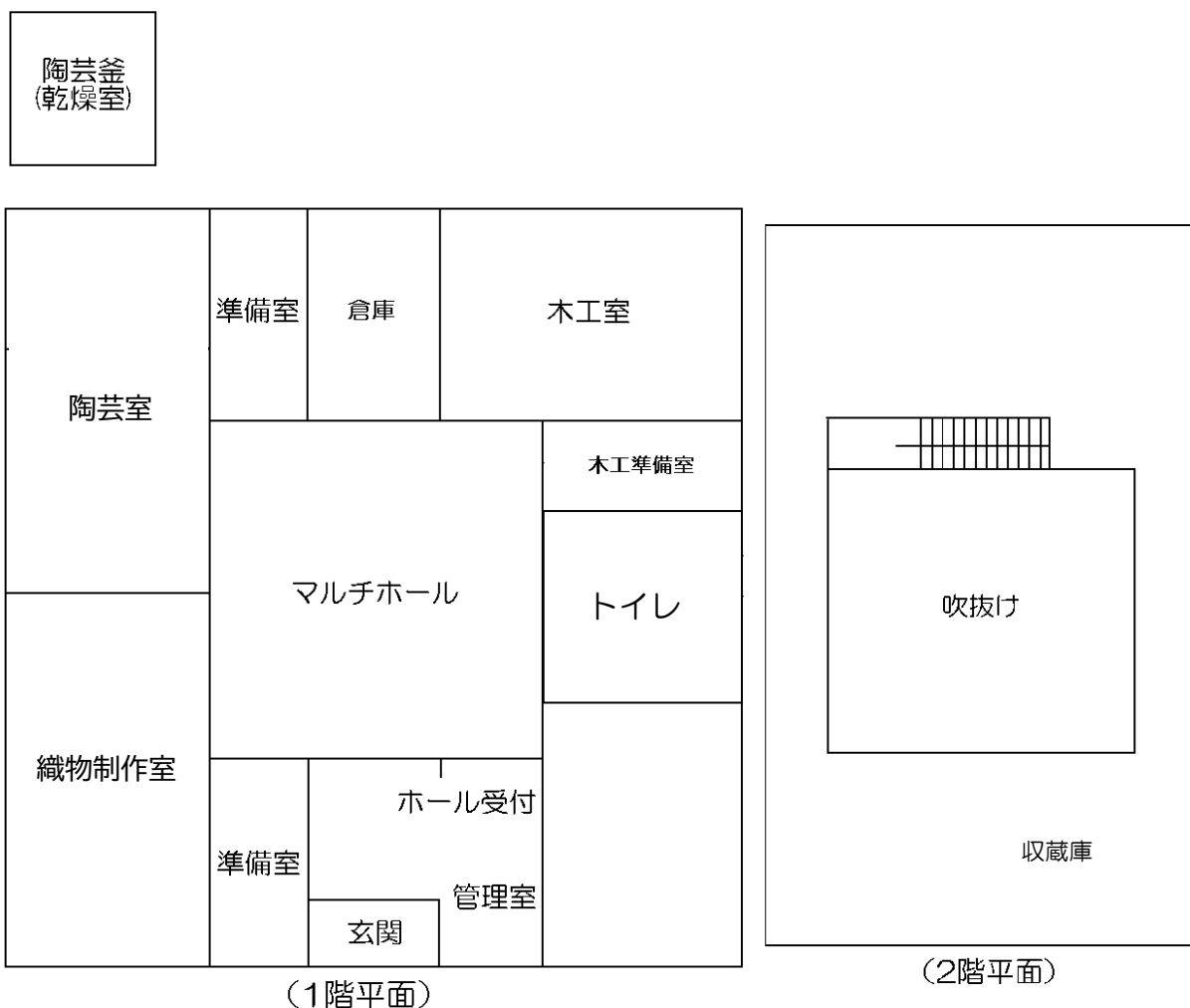
山元町教育基本方針に基づき、地域の伝統文化の継承及び創作活動の伝承を図ることを目的として、施設の適正な運営管理を行う。

重 点 目 標

- 1 機織、陶芸等の技能の向上と伝承活動を推進する
- 2 社会教育団体の活動の場として、施設の有効活用を図る

ふるさと伝承館見取図

- 所在地 山元町浅生原字日向 13 番地 5
- 建 築 平成 2 年 3 月 鉄骨造 2 階建
- 面 積 623.58㎡



21 深山山麓少年の森運営方針

山元町教育基本方針に基づき、地域住民の多様なニーズに対応するため本町の緑豊かな自然、気候風土、恵まれた地理的条件等を活かした農村多目的施設として、スポーツ、文化、産業等あらゆる活動を通して、人と人、人と物の交流を図る。

また、地域住民に潤いとやすらぎを与えることにより、住民を主体とした参加と連帯によるコミュニティ形成に努める。

併せて、青少年の健全育成に努めるとともに、高齢化社会、福祉社会へ対応する施設としての整備、充実に努める。

重 点 目 標

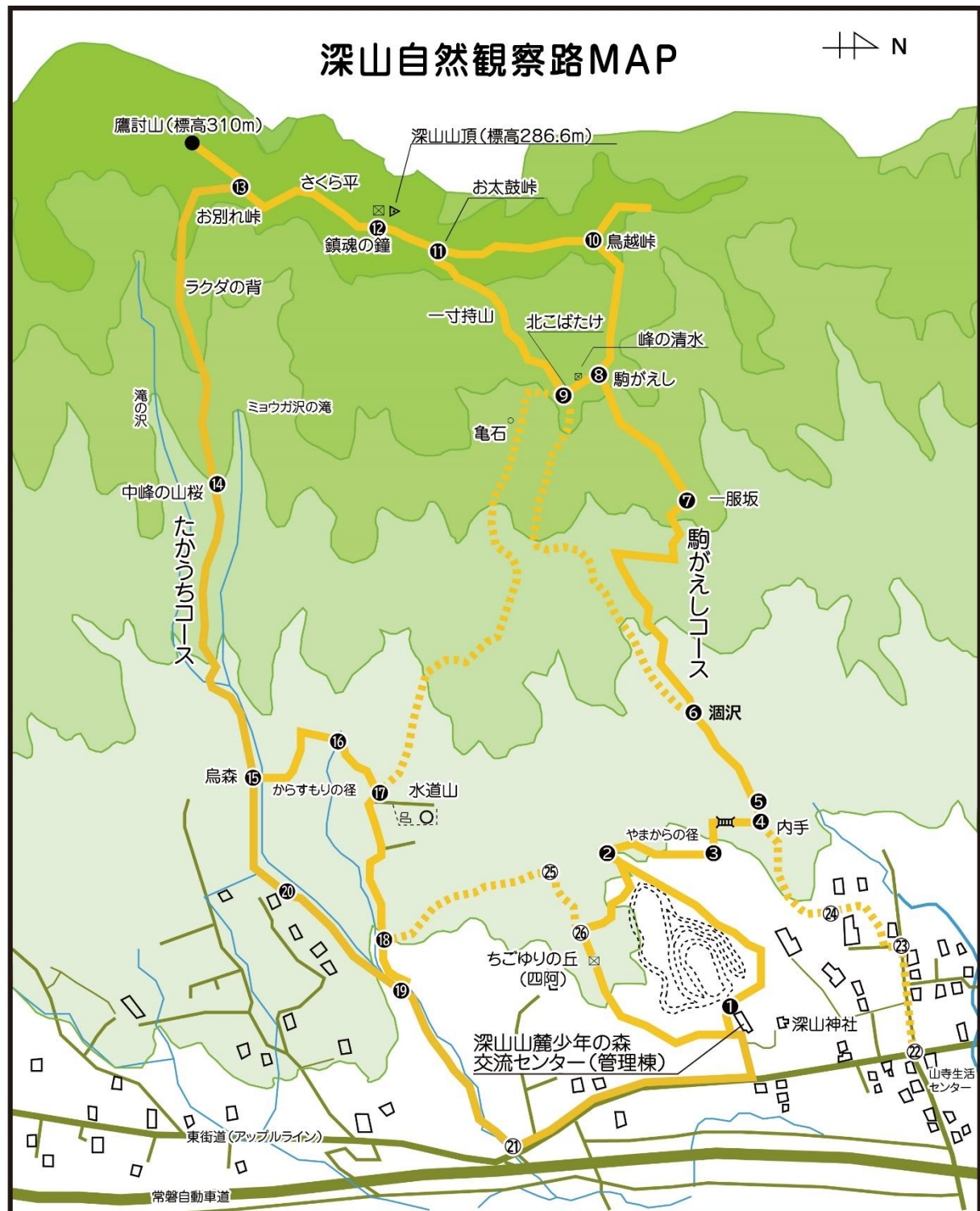
- 1 農村多目的広場としての施設の整備・充実
 - ・都市近郊住民との人的、物的交流を図る
 - ・住民の参加と連帯によるコミュニティ形成を図る
 - ・施設の老朽化対策と駐車場不足の解消、更には魅力の向上を図るため、施設の拡張・改修を実施する
- 2 青少年の健全育成、高齢化社会、福祉社会に対応する施設としての整備・充実
 - ・自然に親しみながら、年齢、体力、目的に応じた健康維持・増進
 - ・野外活動等を通して、青少年の健全育成の場としての活用を図る
- 3 豊かな自然環境の保全と活用
 - ・自然環境保全意識の啓発と体験学習の場の拡大
 - ・「深山山麓少年の森」を中核としての周辺地域の自然を活かした有効活用を図る
 - ・自然志向の高まりを受け、森林浴などのレクリエーション施設として活用を図る
 - ・近年の登山ブームの影響により、町内外から多くの登山者が訪れていることを踏まえ、自然を活かした登山道（自然観察路）の活用と充実に努める

深山山麓少年の森

- 1 所在地 山元町山寺字新山85番地
- 2 建設 平成7年3月
令和7年7月12日リニューアルオープン



深山自然観察路



22 震災遺構中浜小学校運営方針

山元町教育基本方針に基づき、震災の記憶と教訓を風化することなく後世へ伝承することなどを目的として整備し、令和2年9月に一般公開を開始した。

防災・減災への意識向上や避難行動の在り方などを学ぶ場として、防災教育・防災研修等に活用されるよう広報活動等に努めるとともに、効率的かつ効果的な施設運営を目指す。

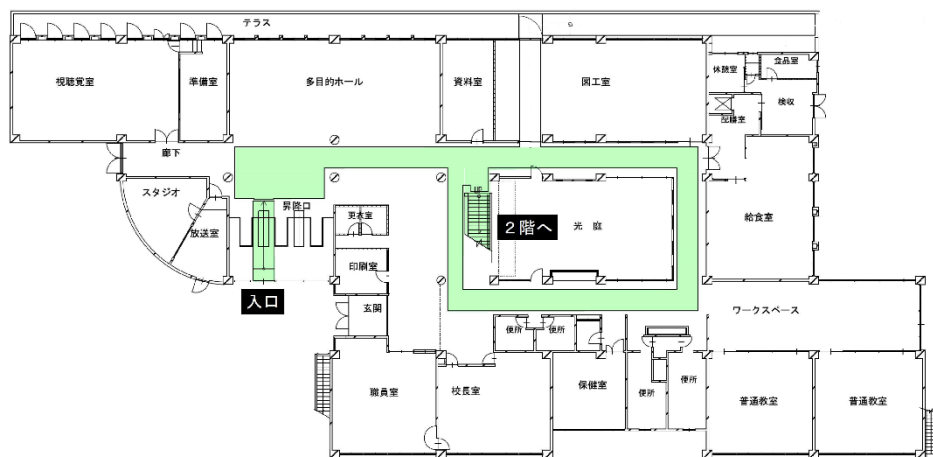
重点目標

- 1 施設を活用した町民等への防災教育の場を提供する
- 2 学校や団体、企業等に働きかけ、県内、県外の子どもから大人まで関わることのできる防災教育の場を提供する
- 3 他震災伝承施設と連携を図り、定期的に情報発信を行う
- 4 防災を学ぶ場として、防災講習会等を開催する

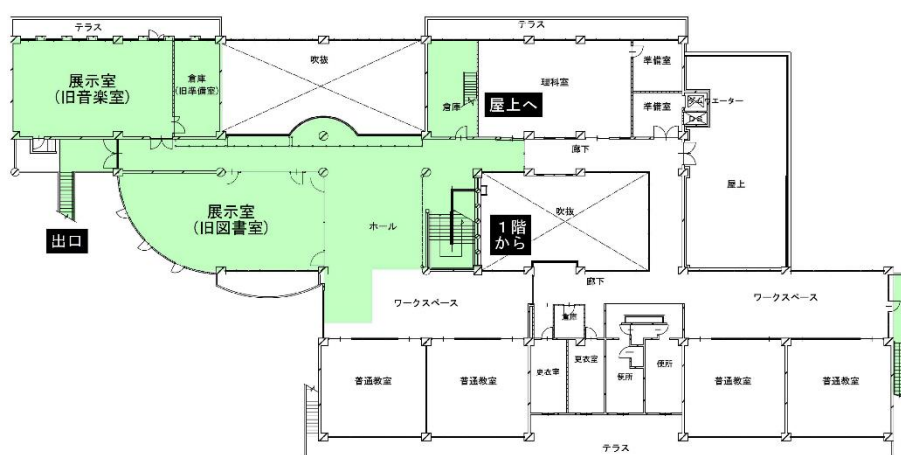
震災遺構中浜小学校見取図

- 所在地 山元町坂元字久根22番地2
- 建築 平成元年 鉄筋コンクリート造2階建
- 面積 2,310.12m²

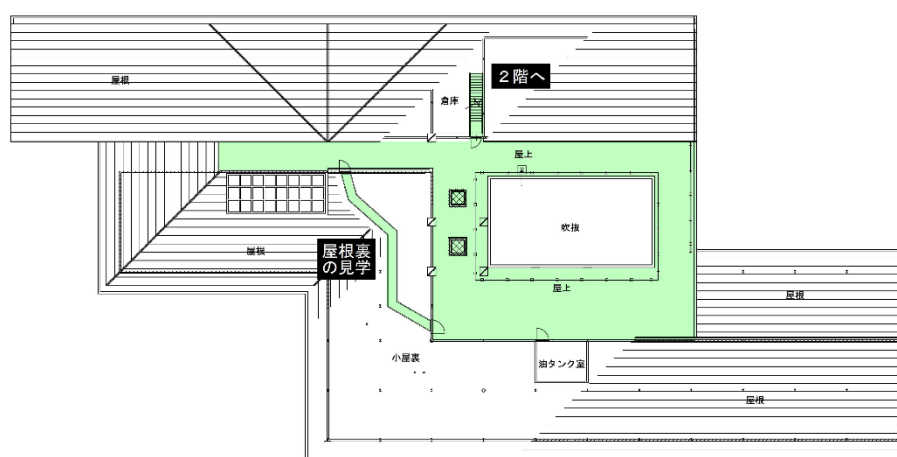




1階 平面図



2階 平面図



屋上 平面図

○立ち入り可能な面積

	面積 (㎡)
1階	165
2階	437
屋上	232
合計	834

※グレー着色部分:立ち入りが可能な範囲

23 社会教育関係団体

(1)育児サークル「なかよし会」

職 名	氏 名	備 考
会 長	鈴 木 春 奈	

(2)山元ボランティアサークル虹

職 名	氏 名	備 考
会 長	岩 佐 真悠子	
副会長	高 橋 涼 翔	
副会長	作 間 廉	

(3)山元町連合父母教師会

職 名	氏 名	備 考
会 長	高 橋 浩 二	山元中学校 父母教師会
副会長	小 泉 大 輔	山下第一小学校 父母教師会

(4)山元青年倶楽部“翔”

職 名	氏 名	備 考
会 長	内 山 太 史	
副会長	大 坪 丈 浩	

(5)山元町青少年育成推進協議会

職 名	氏 名	備 考
会 長	齋 藤 由 紀	青少年育成 推進指導員
副会長	伊 藤 篤 子	民生委員児童 委員協議会
副会長	齋 藤 賢 一	校長会 (坂元小学校)

(6)山元町文化協会

職 名	氏 名	備 考
会 長	山 上 利 昭	フォト・ あんぐる山元
副会長	作 間 京 子	民謡照桃会 山元支部
副会長	萱 場 裕 子	やまもと 民話の会

(7)すばらしいやまもとを創る協議会

職 名	氏 名	備 考
会 長	砂 金 良 宏	区長会
副会長	大 和 良 一	公衆衛生組合 連合会
副会長	平 栗 秀 勝	校長会 (山下第一小学校)

(8)山元町老人クラブ連合会

職 名	氏 名	備 考
会 長	鞠 古 純 一	牛橋桜の会
副会長	小 泉 千壽子	山寺いきいき クラブ

(9)山元町スポーツ協会

職 名	氏 名	備 考
会 長	嶋 田 博 美	ソフト ボール協会
副会長	高 橋 誠 一	ソフト ボール協会
副会長	作 間 稔 昌	卓球協会

(10)山元町スポーツ少年団本部

職 名	氏 名	備 考
本部長	阿 部 正 晴	山下フレンズ
副本部長	森 竜 一	山下バスケット ボール
副本部長	寺 嶋 琢 也	YYクラブ・ ジュニア